

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2022年11月24日

【発行者名】 J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大越 昇一

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング

【事務連絡者氏名】 内藤 敏信
(連絡場所)
東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング

【電話番号】 03 - 6736 - 2000

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）
J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）
J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）
J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）につき、2兆円を上限とします。
J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）につき、2兆円を上限とします。
J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）につき、2兆円を上限とします。
J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）につき、2兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

．【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、2022年5月26日付で提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、また記載事項の一部訂正を行うため、訂正届出書を提出いたします。

．【訂正の内容】

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）ファンドの目的及び基本的性格

（二）ファンドの特色

< 訂正前 >

（略）

マザーファンドの運用の指図に関する権限をJ．P．モルガン・インベストメント・マネージメント・インク*（米国法人）に委託します。（以下「運用委託先」または「JPMIM社」という場合があります。）

（略）

*（略）

< 訂正後 >

（略）

マザーファンドの運用の指図に関する権限をJ．P．モルガン・インベストメント・マネージメント・インク*（米国法人）に委託します。（以下「運用委託先」または「JPMIM社」という場合があります。）

（略）

*（略）

（注）資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には、前記にしたがった運用が行えないことがあります。

（3）ファンドの仕組み

< 訂正前 >

（略）

（八）委託会社の概況

資本金 2,218百万円（2022年3月末現在）

（略）

大株主の状況（2022年3月末現在）

（以下略）

< 訂正後 >

（略）

（八）委託会社の概況

資本金 2,218百万円（2022年9月末現在）

（略）

大株主の状況（2022年9月末現在）

（以下略）

2【投資方針】

（1）投資方針

<訂正前>

（略）

（ロ）投資態度

マザーファンドにおける運用プロセスは次のとおりです。

なお、資金動向や市況動向により、次のような運用ができない場合があります。

（略）

<当ファンドまたはマザーファンドにおいて行われることがある、投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引の内容、および当該取引が投資者の利益を害しないことを確保するための措置>

委託会社および運用委託先（以下「委託会社等」という場合があります。）は、当ファンドまたはマザーファンドにおいて、自己または第三者の利益を図るために投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引を行うことがあり、それらの内容は後記のとおりです。委託会社等は、当該取引が投資者の利益を害しないことを確保するための措置として、社内規程等を制定してそれにしたがった管理を行うとともに、社内規程等の遵守状況についてモニタリングを必要に応じて行っています。当該措置の詳細については、後記「3 投資リスク（2）投資リスクに関する管理体制」をご参照ください。

- ・ 委託会社等の関係会社である証券会社が引受けを行った有価証券のマザーファンドでの組入れ
- ・ 当ファンドおよびマザーファンドにおける有価証券取引等の、委託会社等の関係会社である証券会社等に対する発注
- ・ マザーファンドにおいて保有もしくは取引する有価証券または当ファンドの受益権の、委託会社等またはその関係会社の役職員による売買等の取引
- ・ マザーファンドにおける有価証券取引等の発注と、委託会社等が運用する他の運用資産における有価証券取引等の発注を、束ねて一括して発注すること（一括発注）
- ・ マザーファンドの運用担当者（ポートフォリオ・マネジャー、アナリスト等）が贈答、茶菓の接待等を受けた、証券会社等に対するマザーファンドにおける有価証券等の発注、または有価証券の発行体の発行する有価証券のマザーファンドでの組入れ
- ・ 委託会社等またはその関係会社と取引関係のある有価証券の発行体が発行する有価証券にかかる議決権のマザーファンドにおける行使
- ・ マザーファンドと、委託会社等が運用する他の運用資産間において行う有価証券等の取引（クロス取引）
- ・ 委託会社による当ファンドの受益権の取得申込みおよび換金

<訂正後>

（略）

（ロ）投資態度

マザーファンドにおける運用プロセスは次のとおりです。

なお、資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には、以下にしたがった運用が行えないことがあります。

（略）

<当ファンドまたはマザーファンドにおいて行われることがある、投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引の内容、および当該取引が投資者の利益を害しないことを確保するための措置>

委託会社および運用委託先（以下「委託会社等」という場合があります。）は、当ファンドまたはマザーファンドにおいて、自己または第三者の利益を図るために投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引を行うことがあり、それらの内容は後記の「J Pモルガン・アセット・マネジメントにおける利益相反の開示について」をご覧ください。委託会社等は、当該取引が投資者の利益を害しないことを確保するための措置として、社内規程等を制定してそれにしたがった管理を行うとともに、社内規程等の遵守状況についてモニタリングを必要に応じて行っています。

（３）運用体制

<訂正前>

- ・ 当ファンドの主要投資先であるマザーファンドにおける運用体制

（略）

（注１）（略）

（注２）前記の運用体制、組織名称等は、2022年3月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（以下略）

<訂正後>

- ・ 当ファンドの主要投資先であるマザーファンドにおける運用体制

（略）

（注１）（略）

（注２）前記の運用体制、組織名称等は、2022年9月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（以下略）

3【投資リスク】

（１）リスク要因

原届出書「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 3 投資リスク （１）リスク要因」末尾の参考情報について、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

参考情報

下記グラフは、ファンドの投資リスクをご理解いただくための情報の一つとしてご利用ください。

JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、3ヵ月決算型)

＜ファンドの分配金再投資基準価額・年間騰落率の推移＞

2017年10月～2022年9月の5年間に於ける、ファンドの分配金再投資基準価額(日次)と、年間騰落率(毎月末時点)の推移を示したものです。



＜ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較＞

左のグラフと同じ期間における年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型)

＜ファンドの分配金再投資基準価額・年間騰落率の推移＞

2017年10月～2022年9月の5年間に於ける、ファンドの分配金再投資基準価額(日次)と、年間騰落率(毎月末時点)の推移を示したものです。



＜ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較＞

左のグラフと同じ期間における年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(ご注意)

- 分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。
 - ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における分配金再投資基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。)
 - 代表的な資産クラスの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
 - ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
 - ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、実際の基準価額およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
 - ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
 - 代表的な資産クラスを表す指数
 - 日本株・・・TOPIX(配当込み)
 - 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
 - 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 - 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
 - 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 - 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル(円ベース)
- (注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村證券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、遅延または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

下記グラフは、ファンドの投資リスクをご理解いただくための情報の一つとしてご利用ください。

JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、年2回決算型)

＜ファンドの基準価額・年間騰落率の推移＞

2017年10月～2022年9月の5年間に於ける、ファンドの基準価額(日次)と、年間騰落率(毎月末時点)の推移を示したものです。



＜ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較＞

左のグラフと同じ期間における年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型)

＜ファンドの基準価額・年間騰落率の推移＞

2017年10月～2022年9月の5年間に於ける、ファンドの基準価額(日次)と、年間騰落率(毎月末時点)の推移を示したものです。



＜ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較＞

左のグラフと同じ期間における年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(ご注意)

- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。)
- 代表的な資産クラスの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケットズ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケットズ・グローバル(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケットズ・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケットズ・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケットズ・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマージング・マーケットズ・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村證券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケットズ・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

(2) 投資リスクに関する管理体制

＜訂正前＞

運用委託先におけるリスク管理
(略)

(2022年3月末現在)

(略)

<当ファンドまたはマザーファンドにおいて行われることがある、投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引が、投資者の利益を害しないことを確保するための措置の詳細>

委託会社等が当ファンドまたはマザーファンドにおいて行うことがある、自己または第三者の利益を害するために投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引が、投資者の利益を害しないことを確保するための措置の詳細は以下のとおりです。

投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引の内容	投資者の利益を害しないことを確保するための措置
委託会社等の関係会社である証券会社が引受けを行った有価証券のマザーファンドでの組入れ	関係会社である証券会社が引受けを行った有価証券の組入れにあたっては、社内規程等に基づき、原則として、関係会社である証券会社から購入せず、引受団に属する他の証券会社から購入することとしています。また、コンプライアンス部門は、組入れ後に組入れの事跡をモニタリングし、社内規程等に違反していないことを確認します。さらに、リスク管理部門が、組入銘柄が投資ガイドラインにおいて問題なく投資できるものであることを取引前・取引後においてモニタリングしています。
当ファンドおよびマザーファンドにおける有価証券取引等の、委託会社等の関係会社である証券会社等に対する発注	社内規程等に基づき、各証券会社等の調査能力、売買執行能力等を考慮して、発注先として選定する証券会社等を定期的に見直します。株式については、前記で選定した証券会社への予定発注量も定期的に見直したうえで、リスク管理部門とインベストメント・ダイレクターが各証券会社へ実際の発注量を定期的にモニタリングし、関係会社である証券会社に対し合理的な理由なく多量に発注されていないことを確認しています。株式以外については、関係会社であるかどうかに関わりなく、最良の取引条件となる証券会社等に発注しているかをコンプライアンス部門が確認しています。なお、当ファンドおよびマザーファンドが関係会社である証券会社に対し支払った売買委託手数料の額（手数料相当額が取引の価格に織り込まれているものを除きます。）は、当ファンドの運用報告書で開示されます。
マザーファンドにおいて保有もしくは取引する有価証券または当ファンドの受益権の、委託会社等またはその関係会社の役員による売買等の取引	委託会社等の役員による有価証券の売買等の取引は、社内規程等に基づき原則としてコンプライアンス部門の事前承認を得ることが義務付けられており、利益相反をうかがわせる事実がないことが確認できた場合のみ承認がなされます。また、取引後にコンプライアンス部門が取引内容を精査し、役職員の取引の時期・銘柄が、マザーファンドにおいて取引されたものと重なる等の利益相反が生じていないことを確認します。
マザーファンドにおける有価証券取引等の発注と、委託会社等が運用する他の運用資産における有価証券取引等の発注を、束ねて一括して発注すること（一括発注）	一括発注は、社内規程等に定める条件の下に行われ、その約定結果は社内規程等に基づき、発注のあった運用資産間で公平に配分します。コンプライアンス部門は、配分結果が社内規程等にしがって公平になされたかどうかをモニタリングします。
マザーファンドの運用担当者（ポートフォリオ・マネジャー、アナリスト等）が贈答、茶菓の接待等を受けた、証券会社等に対するマザーファンドにおける有価証券等の発注、または有価証券の発行体の発行する有価証券のマザーファンドでの組入れ	委託会社等の役員が贈答、茶菓の接待等を受けた際は、原則として社内規程等に基づきその内容をコンプライアンス部門に報告する義務があります。コンプライアンス部門は、当該報告に基づき、贈答、茶菓の接待等を受けたことが、特定の証券会社等への取引の発注や特定の銘柄の有価証券の組入れにつながっていないことをモニタリングします。
委託会社等またはその関係会社と取引関係のある有価証券の発行体が発行する有価証券にかかる議決権のマザーファンドにおける行使	マザーファンドで保有する有価証券にかかる議決権の行使は、社内規程等に基づいて、当ファンドの受益者の経済的利益に最も資するという原則の下に行われます。インベストメント・ダイレクターは、議決権行使の前にその内容が社内規程等に沿っているか確認します。
マザーファンドと、委託会社等が運用する他の運用資産間において行う有価証券等の取引（クロス取引）	有価証券届出書提出日現在、社内規程等によりクロス取引は原則として禁止されています。今後、クロス取引を行う場合には、社内規程等を変更して投資者の利益を損ねることのない一定の条件を定め、当該条件を満たすクロス取引のみを行うこととし、当該条件の逸脱がないことをコンプライアンス部門がモニタリングする体制を構築する予定です。
委託会社による当ファンドの受益権の取得申込みおよび換金	委託会社による当ファンドの受益権の取得申込みおよび換金は、社内規程等に則り、取得申込みの目的および金額、受益権の保有期間、換金時期等について一定の制限を設けて、一般的な投資者の利益を害しないように行います。また、財務部門が、社内規程等にしがった取得申込み等が行われていることをモニタリングします。

J P モルガン・アセット・マネジメントにおける利益相反の開示について

(以下略)

<訂正後>

運用委託先におけるリスク管理
(略)

(2022年9月末現在)

(略)

J P モルガン・アセット・マネジメントにおける利益相反の開示について

(以下略)

4【手数料等及び税金】

(5) 課税上の取扱い

<訂正前>

(略)

なお、税法が改正された場合には、以下の内容が変更になることがあります。以下の税制は2022年3月末現在適用されるものです。

(略)

法人、個人別の課税の取扱いについて

(a) 個人の受益者に対する課税

(略)

(二) 少額投資非課税制度について

公募株式投資信託は、税法上の少額投資非課税制度である「NISA」および「ジュニアNISA」の適用対象です。毎年、NISAをご利用の場合は年間120万円の範囲で、またジュニアNISAをご利用の場合は年間80万円の範囲で、新たに取得した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、その年の1月1日現在、NISAをご利用の場合は満20歳以上の方、ジュニアNISAをご利用の場合は満20歳未満の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、少額投資非課税制度をご利用の場合、非課税口座で生じた配当所得および譲渡所得を、非課税口座以外で生じた配当所得および譲渡所得と損益通算することはできません。詳しくは販売会社にご確認ください。

(以下略)

<訂正後>

(略)

なお、税法が改正された場合には、以下の内容が変更になることがあります。以下の税制は2022年9月末現在適用されるものです。

(略)

法人、個人別の課税の取扱いについて

(a) 個人の受益者に対する課税

(略)

(二) 少額投資非課税制度について

公募株式投資信託は、税法上の少額投資非課税制度である「NISA」および「ジュニアNISA」の適用対象です。少額投資非課税制度をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、非課税口座で生じた配当所得および譲渡所得を、非課税口座以外で生じた配当所得および譲渡所得と損益通算することはできません。詳しくは販売会社にご確認ください。

(以下略)

5【運用状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」について、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

(1) 投資状況

< JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）>

(2022年9月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	5,852,700,982	100.16
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	9,540,649	0.16
合計(純資産総額)		5,843,160,333	100.00

(注) 投資比率とは、当ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。投資比率は四捨五入です。親投資信託は、全て「GIM北米高配当株式マザーファンド(適格機関投資家専用)」です(以下同じ)。

< JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）>

(2022年9月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	239,641,019	100.74
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	1,748,870	0.74
合計(純資産総額)		237,892,149	100.00

(注) 投資比率とは、当ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。投資比率は四捨五入です。

< JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）>

(2022年9月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	4,956,515,295	100.17
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	8,278,135	0.17
合計(純資産総額)		4,948,237,160	100.00

(注) 投資比率とは、当ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。投資比率は四捨五入です。

< JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）>

(2022年9月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
-------	------	---------	---------

親投資信託受益証券	日本	251,226,323	100.96
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	2,377,299	0.96
合計(純資産総額)		248,849,024	100.00

(注) 投資比率とは、当ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。投資比率は四捨五入です。

(参考) G I M北米高配当株式マザーファンド(適格機関投資家専用)

(2022年9月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	アメリカ	10,799,811,346	95.57
投資証券	アメリカ	249,208,022	2.21
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	251,098,804	2.22
合計(純資産総額)		11,300,118,172	100.00

(注1) 投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。投資比率は四捨五入です。

(注2) 上記の「国/地域」は、マザーファンドが保有する有価証券の発行地または上場取引所の国/地域を表しています。

具体的な投資対象については、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」をご参照ください。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

< JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、3ヵ月決算型) >

(2022年9月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	口数	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	G I M北米高配当株式マザーファンド (適格機関投資家専用)	1,379,540,597	4.4637	6,157,986,587	4.2425	5,852,700,982	100.16

< JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型) >

(2022年9月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	口数	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	G I M北米高配当株式マザーファンド (適格機関投資家専用)	56,485,803	4.4734	252,689,200	4.2425	239,641,019	100.74

< JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、年2回決算型) >

(2022年9月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	口数	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	G I M北米高配当株式マザーファンド (適格機関投資家専用)	1,168,300,600	4.4659	5,217,573,145	4.2425	4,956,515,295	100.17

< JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型) >

(2022年9月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	口数	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	G I M北米高配当株式マザーファンド (適格機関投資家専用)	59,216,576	4.4726	264,857,963	4.2425	251,226,323	100.96

(参考) G I M北米高配当株式マザーファンド(適格機関投資家専用)

(2022年9月30日現在)

順位	国/地域	投資国/地域	種類	銘柄名	業種	株式数	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	アメリカ	株式	CONOCOPHILLIPS	エネルギー	23,307	16,167.98	376,827,214	15,011.00	349,861,484	3.10
2	アメリカ	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	4,421	78,424.75	346,715,827	73,683.67	325,755,515	2.88
3	アメリカ	アメリカ	株式	BRISTOL-MYERS SQUIBB COMPANY	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	30,542	10,330.19	315,504,848	10,384.32	317,158,057	2.81
4	アメリカ	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	23,651	14,274.72	337,611,576	12,841.75	303,720,248	2.69
5	アメリカ	アメリカ	株式	RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	資本財	21,536	13,801.74	297,234,297	11,923.65	256,787,843	2.27
6	アメリカ	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9,833	24,185.53	237,816,372	23,825.58	234,277,020	2.07
7	アメリカ	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	48,099	5,057.62	243,266,747	4,439.87	213,553,528	1.89
8	アメリカ	アメリカ	株式	EOG RESOURCES INC	エネルギー	12,961	18,040.58	233,823,982	16,359.18	212,031,406	1.88
9	アメリカ	アメリカ	株式	CVS HEALTH CORPORATION	ヘルスケア機器・サービス	15,088	14,753.44	222,599,938	14,043.67	211,890,950	1.88
10	アメリカ	アメリカ	株式	GENERAL DYNAMICS CORP	資本財	6,665	34,294.53	228,573,079	31,051.60	206,958,969	1.83
11	アメリカ	アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	食品・飲料・タバコ	16,426	14,135.26	232,185,878	12,466.69	204,777,898	1.81
12	アメリカ	アメリカ	株式	AIR PRODUCTS AND CHEMICALS INC	素材	6,025	38,224.78	230,304,301	33,561.16	202,206,023	1.79
13	アメリカ	アメリカ	株式	ANALOG DEVICES INC	半導体・半導体製造装置	9,758	24,008.65	234,276,451	20,561.57	200,639,819	1.78
14	アメリカ	アメリカ	株式	MORGAN STANLEY	各種金融	17,128	12,950.33	221,813,332	11,564.52	198,077,212	1.75
15	アメリカ	アメリカ	株式	NEXTERA ENERGY INC	公益事業	16,833	12,883.89	216,874,634	11,580.45	194,933,811	1.73
16	アメリカ	アメリカ	株式	ABBVIE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9,379	20,205.14	189,504,035	20,667.28	193,838,449	1.72
17	アメリカ	アメリカ	株式	COMCAST CORP-CL A	メディア・娯楽	41,688	5,351.41	223,089,643	4,406.56	183,701,019	1.63
18	アメリカ	アメリカ	株式	BLACKROCK INC	各種金融	2,228	102,069.63	227,411,141	81,661.25	181,941,277	1.61
19	アメリカ	アメリカ	株式	UNITED PARCEL SERVICE INC-CL B	運輸	7,458	29,193.52	217,725,297	23,939.98	178,544,439	1.58
20	アメリカ	アメリカ	株式	PNC FINANCIAL SERVICES GROUP INC	銀行	7,926	24,330.06	192,840,103	21,827.21	173,002,477	1.53
21	アメリカ	アメリカ	株式	MEDTRONIC PLC	ヘルスケア機器・サービス	14,234	13,216.41	188,122,519	11,913.51	169,577,025	1.50
22	アメリカ	アメリカ	株式	SYSCO CORPORATION	食品・生活必需品小売り	15,849	12,403.38	196,581,304	10,351.01	164,053,297	1.45
23	アメリカ	アメリカ	株式	CME GROUP INC	各種金融	6,278	28,693.29	180,136,510	25,873.20	162,431,967	1.44
24	アメリカ	アメリカ	株式	PPG INDUSTRIES INC	素材	9,962	18,973.71	189,016,119	16,162.24	161,008,276	1.42
25	アメリカ	アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	3,965	44,621.26	176,923,301	40,304.96	159,809,195	1.41
26	アメリカ	アメリカ	株式	THE TJX COMPANIES INC	小売	17,909	9,398.91	168,325,140	8,882.64	159,079,297	1.41
27	アメリカ	アメリカ	株式	MCDONALD'S CORPORATION	消費者サービス	4,666	37,822.05	176,477,691	33,943.46	158,380,203	1.40
28	アメリカ	アメリカ	株式	MONDELEZ INTERNATIONAL INC	食品・飲料・タバコ	18,650	9,264.04	172,774,506	8,206.38	153,049,037	1.35
29	アメリカ	アメリカ	株式	DOVER CORPORATION	資本財	8,908	19,416.51	172,962,359	17,073.09	152,087,166	1.35
30	アメリカ	アメリカ	株式	WALMART INC	食品・生活必需品小売り	7,692	19,675.33	151,342,674	19,151.12	147,310,434	1.30

(注) 上記の「国/地域」は、マザーファンドが保有する有価証券の発行地または上場取引所の国/地域を表しています。なお、「投資国/地域」は、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」の記載に基づき、どこの国への投資であるかを委託会社が分類し、記載したものです。そのため、有価証券の発行地と実質的な事業活動が行われている地域が異なる場合等には、上記の「国/地域」と「投資国/地域」における国/地域名が異なる場合があります。

種類別および業種別投資比率

< JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）>

（2022年9月30日現在）

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	100.16

< JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）>

（2022年9月30日現在）

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	100.74

< JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）>

（2022年9月30日現在）

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	100.17

< JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）>

（2022年9月30日現在）

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	100.96

（参考）GIM北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）

（2022年9月30日現在）

種類	国内 / 外国	業種	投資比率（%）
株式	外国	エネルギー	8.74
		素材	3.21
		資本財	9.48
		商業・専門サービス	0.58
		運輸	2.85
		消費者サービス	2.28
		メディア・娯楽	1.63
		小売	4.18
		食品・生活必需品小売り	2.76
		食品・飲料・タバコ	5.18
		家庭用品・パーソナル用品	1.21
		ヘルスケア機器・サービス	10.03
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.40
		銀行	6.94
		各種金融	8.71
		保険	4.99

	ソフトウェア・サービス	2.62
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.48
	電気通信サービス	0.70
	公益事業	4.56
	半導体・半導体製造装置	4.04
小計		95.57
投資証券	-	2.21

投資不動産物件

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）>

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）>

該当事項はありません。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）>

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

2022年9月末日および同日前1年以内における各月末ならびに下記特定期間末または計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型） >

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額 (円) (分配落)	1口当たり 純資産額 (円) (分配付)
第1特定期間末	(2013年8月26日)	14,242	14,950	1.0055	1.0555
第2特定期間末	(2014年2月26日)	14,873	15,593	1.0326	1.0826
第3特定期間末	(2014年8月26日)	11,012	11,434	1.0435	1.0835
第4特定期間末	(2015年2月26日)	11,065	12,103	1.0660	1.1660
第5特定期間末	(2015年8月26日)	9,031	9,031	0.8912	0.8912
第6特定期間末	(2016年2月26日)	7,096	7,096	0.8855	0.8855
第7特定期間末	(2016年8月26日)	4,898	4,898	0.8723	0.8723
第8特定期間末	(2017年2月27日)	6,104	6,467	1.0093	1.0693
第9特定期間末	(2017年8月28日)	6,486	6,486	0.9883	0.9883
第10特定期間末	(2018年2月26日)	5,742	5,799	1.0114	1.0214
第11特定期間末	(2018年8月27日)	5,086	5,333	1.0322	1.0822
第12特定期間末	(2019年2月26日)	5,668	5,668	1.0231	1.0231
第13特定期間末	(2019年8月26日)	5,537	5,537	0.9692	0.9692
第14特定期間末	(2020年2月26日)	6,102	6,102	1.0062	1.0062
第15特定期間末	(2020年8月26日)	5,725	5,725	0.9448	0.9448
第16特定期間末	(2021年2月26日)	5,109	5,330	1.0411	1.0861
第17特定期間末	(2021年8月26日)	4,397	4,822	1.0330	1.1330
第18特定期間末	(2022年2月28日)	4,851	4,851	1.0132	1.0132
第19特定期間末	(2022年8月26日)	5,638	6,017	1.0427	1.1127
	2021年9月末日	4,533	-	1.0259	-
	2021年10月末日	4,840	-	1.0859	-
	2021年11月末日	4,443	-	0.9781	-
	2021年12月末日	4,611	-	1.0259	-
	2022年1月末日	4,702	-	1.0163	-
	2022年2月末日	4,851	-	1.0132	-
	2022年3月末日	5,326	-	1.1063	-
	2022年4月末日	5,420	-	1.1089	-
	2022年5月末日	5,256	-	1.0465	-
	2022年6月末日	5,177	-	1.0366	-
	2022年7月末日	5,430	-	1.0604	-
	2022年8月末日	5,605	-	1.0133	-
	2022年9月末日	5,843	-	0.9870	-

(注) 純資産総額(分配付)および1口当たり純資産額(分配付)は特定期間末日のものであります。

< J P M北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型) >

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額 (円) (分配落)	1口当たり 純資産額 (円) (分配付)
第1特定期間末	(2013年8月26日)	262	275	1.0099	1.0599
第2特定期間末	(2014年2月26日)	239	244	1.0260	1.0460
第3特定期間末	(2014年8月26日)	195	201	1.0239	1.0539
第4特定期間末	(2015年2月26日)	137	139	1.0198	1.0298
第5特定期間末	(2015年8月26日)	95	95	0.8945	0.8945
第6特定期間末	(2016年2月26日)	69	69	0.9372	0.9372
第7特定期間末	(2016年8月26日)	113	115	1.0100	1.0300
第8特定期間末	(2017年2月27日)	953	1,019	1.0100	1.0800
第9特定期間末	(2017年8月28日)	1,076	1,076	1.0082	1.0082
第10特定期間末	(2018年2月26日)	847	889	1.0158	1.0658
第11特定期間末	(2018年8月27日)	620	629	1.0241	1.0391
第12特定期間末	(2019年2月26日)	540	540	1.0020	1.0020
第13特定期間末	(2019年8月26日)	401	401	0.9985	0.9985
第14特定期間末	(2020年2月26日)	366	366	0.9903	0.9903
第15特定期間末	(2020年8月26日)	339	339	0.9668	0.9668
第16特定期間末	(2021年2月26日)	327	346	1.0239	1.0839
第17特定期間末	(2021年8月26日)	331	350	1.0115	1.0715
第18特定期間末	(2022年2月28日)	293	293	1.0091	1.0091
第19特定期間末	(2022年8月26日)	287	287	0.9851	0.9851
	2021年9月末日	294	-	0.9877	-
	2021年10月末日	297	-	1.0299	-
	2021年11月末日	287	-	0.9895	-
	2021年12月末日	297	-	1.0262	-
	2022年1月末日	293	-	1.0137	-
	2022年2月末日	293	-	1.0091	-
	2022年3月末日	316	-	1.0417	-
	2022年4月末日	295	-	0.9871	-
	2022年5月末日	287	-	0.9971	-
	2022年6月末日	263	-	0.9237	-
	2022年7月末日	273	-	0.9572	-
	2022年8月末日	275	-	0.9426	-
	2022年9月末日	237	-	0.8778	-

(注) 純資産総額(分配付)および1口当たり純資産額(分配付)は特定期間末日のものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型） >

期	年月日	純資産総額 （百万円） （分配落）	純資産総額 （百万円） （分配付）	1口当たり 純資産額 （円） （分配落）	1口当たり 純資産額 （円） （分配付）
1期	(2013年8月26日)	21,575	21,575	1.0555	1.0555
2期	(2014年2月26日)	17,968	17,968	1.1899	1.1899
3期	(2014年8月26日)	10,779	10,779	1.3101	1.3101
4期	(2015年2月26日)	11,350	11,350	1.5939	1.5939
5期	(2015年8月26日)	7,838	7,838	1.3960	1.3960
6期	(2016年2月26日)	6,302	6,302	1.3931	1.3931
7期	(2016年8月26日)	5,148	5,148	1.3721	1.3721
8期	(2017年2月27日)	5,492	5,492	1.6823	1.6823
9期	(2017年8月28日)	4,652	4,652	1.6471	1.6471
10期	(2018年2月26日)	4,182	4,182	1.8029	1.8029
11期	(2018年8月27日)	4,054	4,054	1.9392	1.9392
12期	(2019年2月26日)	3,968	3,968	1.9223	1.9223
13期	(2019年8月26日)	3,500	3,500	1.8387	1.8387
14期	(2020年2月26日)	3,871	3,871	2.0688	2.0688
15期	(2020年8月26日)	3,999	3,999	1.9433	1.9433
16期	(2021年2月26日)	3,634	3,634	2.2348	2.2348
17期	(2021年8月26日)	3,740	3,740	2.6557	2.6557
18期	(2022年2月28日)	4,275	4,275	2.8497	2.8497
19期	(2022年8月26日)	4,977	4,977	3.3476	3.3476
	2021年9月末日	3,706	-	2.6375	-
	2021年10月末日	3,836	-	2.7916	-
	2021年11月末日	3,903	-	2.7506	-
	2021年12月末日	4,218	-	2.8857	-
	2022年1月末日	4,246	-	2.8585	-
	2022年2月末日	4,275	-	2.8497	-
	2022年3月末日	4,753	-	3.1117	-
	2022年4月末日	4,731	-	3.1190	-
	2022年5月末日	4,795	-	3.1478	-
	2022年6月末日	4,768	-	3.1178	-
	2022年7月末日	4,917	-	3.1895	-
	2022年8月末日	4,888	-	3.2531	-
	2022年9月末日	4,948	-	3.1686	-

< J P M北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型) >

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額 (円) (分配落)	1口当たり 純資産額 (円) (分配付)
1期	(2013年8月26日)	297	297	1.0629	1.0629
2期	(2014年2月26日)	237	237	1.1543	1.1543
3期	(2014年8月26日)	178	178	1.2479	1.2479
4期	(2015年2月26日)	178	178	1.3215	1.3215
5期	(2015年8月26日)	127	127	1.1585	1.1585
6期	(2016年2月26日)	120	120	1.2155	1.2155
7期	(2016年8月26日)	170	170	1.3330	1.3330
8期	(2017年2月27日)	708	708	1.4673	1.4673
9期	(2017年8月28日)	698	698	1.4665	1.4665
10期	(2018年2月26日)	515	515	1.6272	1.6272
11期	(2018年8月27日)	382	382	1.6637	1.6637
12期	(2019年2月26日)	304	304	1.6277	1.6277
13期	(2019年8月26日)	734	734	1.6285	1.6285
14期	(2020年2月26日)	714	714	1.7238	1.7238
15期	(2020年8月26日)	671	671	1.6853	1.6853
16期	(2021年2月26日)	726	726	1.9353	1.9353
17期	(2021年8月26日)	615	615	2.2206	2.2206
18期	(2022年2月28日)	216	216	2.2832	2.2832
19期	(2022年8月26日)	269	269	2.2295	2.2295
	2021年9月末日	601	-	2.1687	-
	2021年10月末日	626	-	2.2615	-
	2021年11月末日	618	-	2.2263	-
	2021年12月末日	178	-	2.3200	-
	2022年1月末日	217	-	2.2938	-
	2022年2月末日	216	-	2.2832	-
	2022年3月末日	304	-	2.3569	-
	2022年4月末日	287	-	2.2342	-
	2022年5月末日	274	-	2.2569	-
	2022年6月末日	255	-	2.0897	-
	2022年7月末日	269	-	2.1657	-
	2022年8月末日	257	-	2.1327	-
	2022年9月末日	248	-	1.9857	-

分配の推移

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型） >

期	1口当たり分配金（円）
第1特定期間	0.0500
第2特定期間	0.1000
第3特定期間	0.0900
第4特定期間	0.2000
第5特定期間	0.0500
第6特定期間	0.0050
第7特定期間	0.0000
第8特定期間	0.0600
第9特定期間	0.0000
第10特定期間	0.0700
第11特定期間	0.0550
第12特定期間	0.0000
第13特定期間	0.0100
第14特定期間	0.0850
第15特定期間	0.0000
第16特定期間	0.0450
第17特定期間	0.2000
第18特定期間	0.0950
第19特定期間	0.1400

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型） >

期	1口当たり分配金（円）
第1特定期間	0.0500
第2特定期間	0.0700
第3特定期間	0.0800
第4特定期間	0.0600
第5特定期間	0.0000
第6特定期間	0.0000
第7特定期間	0.0200
第8特定期間	0.1100
第9特定期間	0.0000
第10特定期間	0.1000
第11特定期間	0.0150
第12特定期間	0.0000
第13特定期間	0.0000
第14特定期間	0.0700
第15特定期間	0.0000
第16特定期間	0.0850
第17特定期間	0.1600
第18特定期間	0.0250
第19特定期間	0.0000

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型） >

期	1口当たり分配金（円）
1期	0.0000
2期	0.0000
3期	0.0000
4期	0.0000
5期	0.0000
6期	0.0000
7期	0.0000
8期	0.0000
9期	0.0000
10期	0.0000
11期	0.0000
12期	0.0000
13期	0.0000
14期	0.0000
15期	0.0000
16期	0.0000
17期	0.0000
18期	0.0000
19期	0.0000

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型） >

期	1口当たり分配金（円）
1期	0.0000
2期	0.0000
3期	0.0000
4期	0.0000
5期	0.0000
6期	0.0000
7期	0.0000
8期	0.0000
9期	0.0000
10期	0.0000
11期	0.0000
12期	0.0000
13期	0.0000
14期	0.0000
15期	0.0000
16期	0.0000
17期	0.0000
18期	0.0000
19期	0.0000

収益率の推移

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）>

期	収益率（%）
第1特定期間	5.55
第2特定期間	12.64
第3特定期間	9.77
第4特定期間	21.32
第5特定期間	11.71
第6特定期間	0.08
第7特定期間	1.49
第8特定期間	22.58
第9特定期間	2.08
第10特定期間	9.42
第11特定期間	7.49
第12特定期間	0.88
第13特定期間	4.29
第14特定期間	12.59
第15特定期間	6.10
第16特定期間	14.96
第17特定期間	18.43
第18特定期間	7.28
第19特定期間	16.73

（注）収益率とは特定期間末の基準価額（分配落）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落）（以下「前特定期間末基準価額」といいます。）を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算して得た額を前特定期間末基準価額で除したものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）>

期	収益率（％）
第1特定期間	5.99
第2特定期間	8.53
第3特定期間	7.59
第4特定期間	5.46
第5特定期間	12.29
第6特定期間	4.77
第7特定期間	9.90
第8特定期間	10.89
第9特定期間	0.18
第10特定期間	10.67
第11特定期間	2.29
第12特定期間	2.16
第13特定期間	0.35
第14特定期間	6.19
第15特定期間	2.37
第16特定期間	14.70
第17特定期間	14.42
第18特定期間	2.23
第19特定期間	2.38

（注）収益率とは特定期間末の基準価額（分配落）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落）（以下「前特定期間末基準価額」といいます。）を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算して得た額を前特定期間末基準価額で除したものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型） >

期	収益率（％）
1期	5.55
2期	12.73
3期	10.10
4期	21.66
5期	12.42
6期	0.21
7期	1.51
8期	22.61
9期	2.09
10期	9.46
11期	7.56
12期	0.87
13期	4.35
14期	12.51
15期	6.07
16期	15.00
17期	18.83
18期	7.31
19期	17.47

（注）収益率とは計算期間末の基準価額（分配付）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落）（以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除したものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型） >

期	収益率（％）
1期	6.29
2期	8.60
3期	8.11
4期	5.90
5期	12.33
6期	4.92
7期	9.67
8期	10.08
9期	0.05
10期	10.96
11期	2.24
12期	2.16
13期	0.05
14期	5.85
15期	2.23
16期	14.83
17期	14.74
18期	2.82
19期	2.35

（注）収益率とは計算期間末の基準価額（分配付）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落）（以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除したものです。

(4) 設定及び解約の実績

下記特定期間中または計算期間中の設定および解約の実績ならびに当該特定期間末または計算期間末の残存口数は次の通りです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型） >

期	設定口数（口）	解約口数（口）	残存口数（口）
第1特定期間	14,648,905,402	484,696,773	14,164,208,629
第2特定期間	6,366,724,550	6,127,131,476	14,403,801,703
第3特定期間	2,228,832,466	6,078,934,039	10,553,700,130
第4特定期間	2,395,462,288	2,569,046,412	10,380,116,006
第5特定期間	1,429,344,412	1,674,852,048	10,134,608,370
第6特定期間	204,169,836	2,324,538,631	8,014,239,575
第7特定期間	205,642,581	2,603,883,391	5,615,998,765
第8特定期間	1,783,788,956	1,351,528,799	6,048,258,922
第9特定期間	1,279,805,522	764,156,202	6,563,908,242
第10特定期間	151,558,374	1,037,228,122	5,678,238,494
第11特定期間	25,591,540	775,471,893	4,928,358,141
第12特定期間	1,081,948,269	469,940,318	5,540,366,092
第13特定期間	780,917,948	608,114,585	5,713,169,455
第14特定期間	1,017,716,782	665,605,564	6,065,280,673
第15特定期間	423,947,599	429,185,625	6,060,042,647
第16特定期間	113,643,031	1,265,941,224	4,907,744,454
第17特定期間	166,327,965	817,373,166	4,256,699,253
第18特定期間	810,333,199	278,390,770	4,788,641,682
第19特定期間	1,173,306,263	554,315,674	5,407,632,271

（注1）第1特定期間の設定口数には、当初申込期間中の設定口数を含みます。

（注2）設定口数、解約口数は、全て本邦内におけるものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型） >

期	設定口数（口）	解約口数（口）	残存口数（口）
第1特定期間	261,691,836	1,500,000	260,191,836
第2特定期間	92,721,236	119,178,237	233,734,835
第3特定期間	27,864,903	70,323,335	191,276,403
第4特定期間	2,603,344	58,585,623	135,294,124
第5特定期間	905,897	28,913,681	107,286,340
第6特定期間	950,220	33,831,074	74,405,486
第7特定期間	52,806,265	15,133,785	112,077,966
第8特定期間	874,789,625	42,604,114	944,263,477
第9特定期間	287,402,891	163,743,900	1,067,922,468
第10特定期間	45,797,555	279,306,994	834,413,029
第11特定期間	39,603,406	268,248,546	605,767,889
第12特定期間	8,103,056	74,878,846	538,992,099
第13特定期間	10,229,508	146,700,257	402,521,350
第14特定期間	12,080,956	44,865,225	369,737,081
第15特定期間	4,765,396	23,103,194	351,399,283
第16特定期間	6,830,025	38,673,048	319,556,260
第17特定期間	49,554,278	41,608,925	327,501,613
第18特定期間	10,082,438	47,109,103	290,474,948
第19特定期間	37,388,459	35,818,188	292,045,219

（注1）第1特定期間の設定口数には、当初申込期間中の設定口数を含みます。

（注2）設定口数、解約口数は、全て本邦内におけるものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型） >

期	設定口数（口）	解約口数（口）	残存口数（口）
1期	21,062,691,555	621,270,207	20,441,421,348
2期	4,332,658,966	9,672,859,116	15,101,221,198
3期	1,125,185,325	7,998,362,110	8,228,044,413
4期	2,292,697,093	3,399,130,091	7,121,611,415
5期	458,057,996	1,964,518,963	5,615,150,448
6期	152,211,093	1,242,932,592	4,524,428,949
7期	78,270,241	850,078,306	3,752,620,884
8期	668,836,469	1,156,767,644	3,264,689,709
9期	329,909,413	769,765,987	2,824,833,135
10期	141,105,632	646,173,202	2,319,765,565
11期	44,075,463	272,746,334	2,091,094,694
12期	225,769,651	252,424,590	2,064,439,755
13期	109,589,466	270,323,337	1,903,705,884
14期	285,162,193	317,571,411	1,871,296,666
15期	418,461,419	231,740,431	2,058,017,654
16期	67,752,569	499,382,397	1,626,387,826
17期	152,919,092	370,812,207	1,408,494,711
18期	284,572,871	192,568,238	1,500,499,344
19期	302,745,415	316,307,874	1,486,936,885

（注1）第1期の設定口数には、当初申込期間中の設定口数を含みます。

（注2）設定口数、解約口数は、全て本邦内におけるものです。

< J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型） >

期	設定口数（口）	解約口数（口）	残存口数（口）
1期	283,087,701	3,200,000	279,887,701
2期	85,230,311	159,716,154	205,401,858
3期	33,557,667	96,154,840	142,804,685
4期	37,511,341	45,377,321	134,938,705
5期	9,742,807	34,960,093	109,721,419
6期	1,602,675	12,587,876	98,736,218
7期	59,581,859	30,210,856	128,107,221
8期	405,402,690	50,647,362	482,862,549
9期	101,555,386	108,149,296	476,268,639
10期	24,809,086	184,515,172	316,562,553
11期	4,964,002	91,558,663	229,967,892
12期	7,674,686	50,644,506	186,998,072
13期	308,530,896	44,297,606	451,231,362
14期	8,884,349	45,660,689	414,455,022
15期	11,400,525	27,148,061	398,707,486
16期	3,717,520	27,275,827	375,149,179
17期	4,532,053	102,552,511	277,128,721
18期	24,046,071	206,447,301	94,727,491
19期	38,158,731	12,106,643	120,779,579

（注1）第1期の設定口数には、当初申込期間中の設定口数を含みます。

（注2）設定口数、解約口数は、全て本邦内におけるものです。

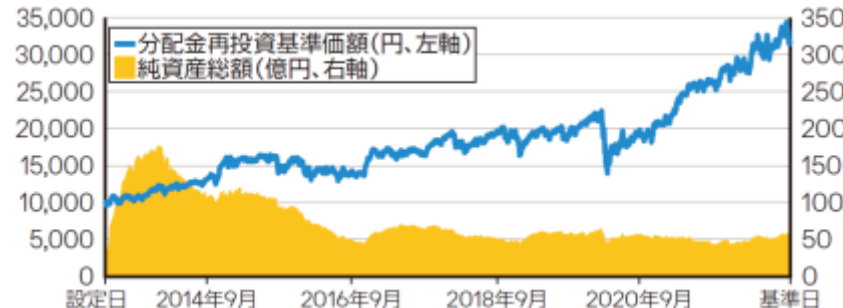
<参考情報>

最新の運用実績は、委託会社ホームページ（<https://www.jpmorgan.com/jp/am/>）、または販売会社でご確認いただけます。
過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）

基準日	2022年9月30日	設定日	2013年4月11日
純資産総額	58億円	決算回数	年4回

基準価額・純資産の推移



分配の推移

期	年月	円
34期	2021年8月	1,000
35期	2021年11月	950
36期	2022年2月	0
37期	2022年5月	700
38期	2022年8月	700
	設定来累計	12,550

* 分配金は税引前1万口当たりの金額です。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。

* 分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

国（地域）別構成状況

投資国/地域 1	投資比率 2
アメリカ	97.9%

通貨別構成状況

通貨	投資比率 2
米ドル	97.9%

業種別構成状況

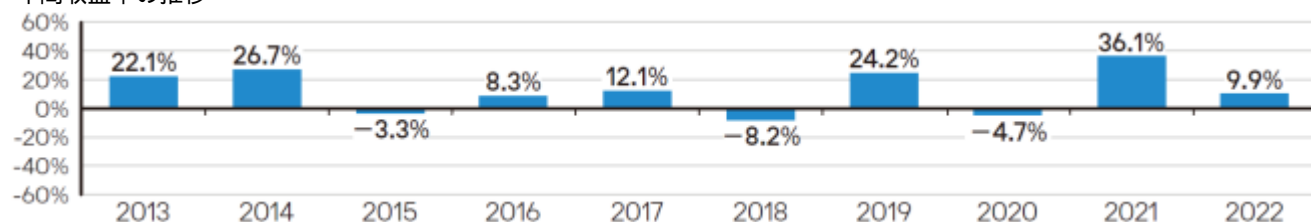
業種	投資比率 2
ヘルスケア機器・サービス	10.1%
資本財	9.5%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.4%
エネルギー	8.8%
各種金融	8.7%
その他	49.2%

* 上記比率にファンドで保有する投資信託証券は含んでいません。

組入上位銘柄

順位	銘柄名	投資国/地域 ^{#1}	通貨	業種	投資比率 ^{#2}
1	コノコフィリップス	アメリカ	米ドル	エネルギー	3.1%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
3	プリストルマイヤーズスクイブ	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
4	エクソンモービル	アメリカ	米ドル	エネルギー	2.7%
5	レイセオン・テクノロジー	アメリカ	米ドル	資本財	2.3%
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%
7	バンク・オブ・アメリカ	アメリカ	米ドル	銀行	1.9%
8	EOGリソーシズ	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.9%
9	CVSヘルス	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.9%
10	ゼネラル・ダイナミクス	アメリカ	米ドル	資本財	1.8%

年間収益率の推移



* 年間収益率(%) = { (年末営業日の基準価額 + その年に支払われた税引前の分配金) ÷ 前年末営業日の基準価額 - 1 } × 100

* 2013年の年間収益率は設定日から年末営業日、2022年の年間収益率は前年末営業日から2022年9月30日までのものです。

* ベンチマークは設定していません。

* 投資信託証券とは、投資信託もしくは外国投資信託の受益証券、投資証券、または外国投資証券の総称です。

* 当ページにおける「ファンド」は、JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）です。

運用実績において、金額は表示単位以下を切捨て、投資比率および収益率は表示単位以下を四捨五入して記載しています。

- 「投資国/地域」は、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」の記載に基づき、どこの国への投資であるかを委託会社が分類し、記載したものです。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています。

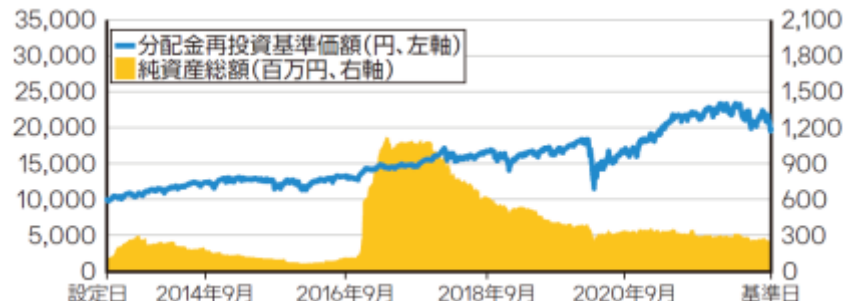
<参考情報>

最新の運用実績は、委託会社ホームページ（<https://www.jpmorgan.com/jp/am/>）、または販売会社でご確認いただけます。
過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）

基準日	2022年9月30日	設定日	2013年4月11日
純資産総額	237百万円	決算回数	年4回

基準価額・純資産の推移



分配の推移

期	年月	円
34期	2021年8月	600
35期	2021年11月	250
36期	2022年2月	0
37期	2022年5月	0
38期	2022年8月	0
	設定来累計	8,450

*分配金は税引前1万口当たりの金額です。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。

*分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

国（地域）別構成状況

投資国/地域 1	投資比率 2
アメリカ	98.5%

通貨別構成状況

通貨	投資比率 2
米ドル	98.5%

*ファンドにおいて、為替ヘッジを行っています。

業種別構成状況

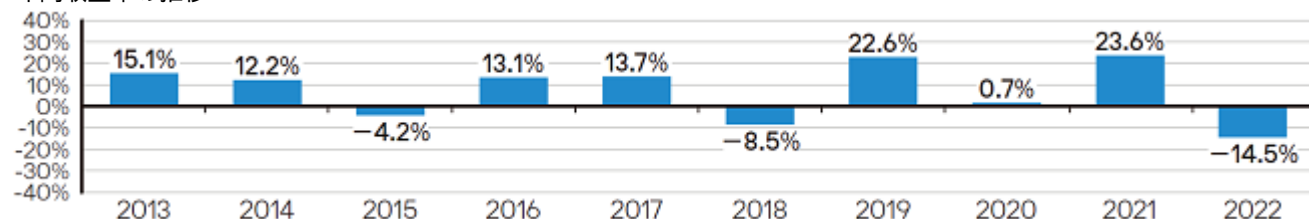
業種	投資比率 2
ヘルスケア機器・サービス	10.1%
資本財	9.5%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.5%
エネルギー	8.8%
各種金融	8.8%
その他	49.6%

*上記比率にファンドで保有する投資信託証券は含んでいません。

組入上位銘柄

順位	銘柄名	投資国/地域*1	通貨	業種	投資比率*2
1	コノコフィリップス	アメリカ	米ドル	エネルギー	3.1%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
3	プリストル・マイヤーズ・スクイブ	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
4	エクソンモービル	アメリカ	米ドル	エネルギー	2.7%
5	レイセオン・テクノロジーズ	アメリカ	米ドル	資本財	2.3%
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%
7	バンク・オブ・アメリカ	アメリカ	米ドル	銀行	1.9%
8	EOGリソーシズ	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.9%
9	CVSヘルス	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.9%
10	ゼネラル・ダイナミクス	アメリカ	米ドル	資本財	1.8%

年間収益率の推移



*年間収益率(%) = { (年末営業日の基準価額 + その年に支払われた税引前の分配金) ÷ 前年末営業日の基準価額 - 1 } × 100

*2013年の年間収益率は設定日から年末営業日、2022年の年間収益率は前年末営業日から2022年9月30日までのものです。

*ベンチマークは設定していません。

*投資信託証券とは、投資信託もしくは外国投資信託の受益証券、投資証券、または外国投資証券の総称です。

*当ページにおける「ファンド」は、「J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）」です。

運用実績において、金額は表示単位以下を切捨て、投資比率および収益率は表示単位以下を四捨五入して記載しています。

- 「投資国/地域」は、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」の記載に基づき、どこの国への投資であるかを委託会社が分類し、記載したものです。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています。

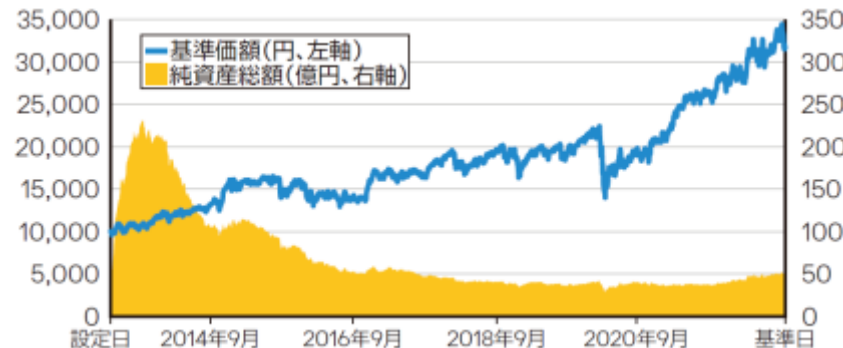
<参考情報>

最新の運用実績は、委託会社ホームページ（<https://www.jpmorgan.com/jp/am/>）、または販売会社でご確認いただけます。
過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）

基準日	2022年9月30日	設定日	2013年4月11日
純資産総額	49億円	決算回数	年2回

基準価額・純資産の推移



* 基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

分配の推移

期	年月	円
15期	2020年8月	0
16期	2021年2月	0
17期	2021年8月	0
18期	2022年2月	0
19期	2022年8月	0
	設定来累計	0

* 分配金は税引前1万口当たりの金額です。

国（地域）別構成状況

投資国/地域	1	投資比率	2
アメリカ		97.9%	

通貨別構成状況

通貨	投資比率	2
米ドル	97.9%	

業種別構成状況

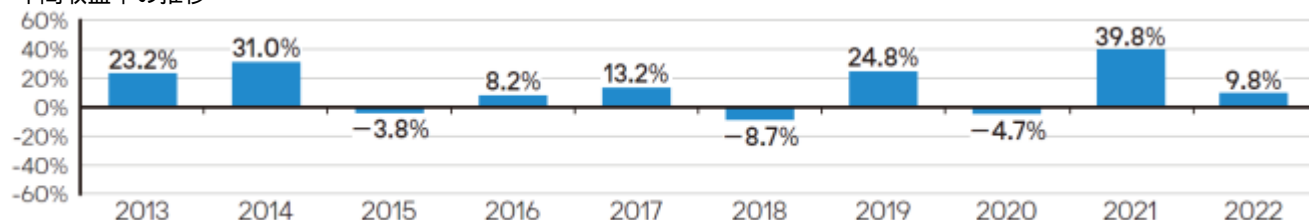
業種	投資比率	2
ヘルスケア機器・サービス	10.1%	
資本財	9.5%	
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.4%	
エネルギー	8.8%	
各種金融	8.7%	
その他	49.2%	

* 上記比率にファンドで保有する投資信託証券は含んでいません。

組入上位銘柄

順位	銘柄名	投資国/地域*1	通貨	業種	投資比率*2
1	コノコフィリップス	アメリカ	米ドル	エネルギー	3.1%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
3	プリストルマイヤーズスクイブ	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
4	エクソンモービル	アメリカ	米ドル	エネルギー	2.7%
5	レイセオン・テクノロジー	アメリカ	米ドル	資本財	2.3%
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%
7	バンク・オブ・アメリカ	アメリカ	米ドル	銀行	1.9%
8	EOGリソーシズ	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.9%
9	CVSヘルス	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.9%
10	ゼネラル・ダイナミクス	アメリカ	米ドル	資本財	1.8%

年間収益率の推移



* 年間収益率(%) = (年末営業日の基準価額 ÷ 前年末営業日の基準価額 - 1) × 100

* 2013年の年間収益率は設定日から年末営業日、2022年の年間収益率は前年末営業日から2022年9月30日までのものです。

* ベンチマークは設定していません。

* 投資信託証券とは、投資信託もしくは外国投資信託の受益証券、投資証券、または外国投資証券の総称です。

* 当ページにおける「ファンド」は、J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）です。

運用実績において、金額は表示単位以下を切捨て、投資比率および収益率は表示単位以下を四捨五入して記載しています。

- 「投資国/地域」は、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」の記載に基づき、どこの国への投資であるかを委託会社が分類し、記載したものです。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています。

<参考情報>

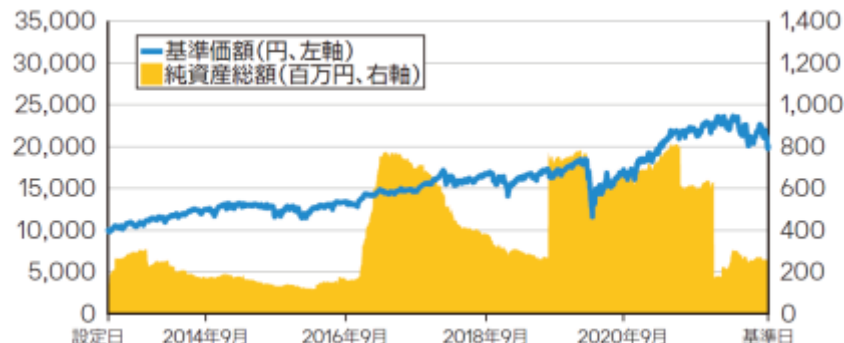
最新の運用実績は、委託会社ホームページ（<https://www.jpmorgan.com/jp/am/>）、または販売会社でご確認いただけます。

過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）

基準日	2022年9月30日	設定日	2013年4月11日
純資産総額	248百万円	決算回数	年2回

基準価額・純資産の推移



分配の推移

期	年月	円
15期	2020年8月	0
16期	2021年2月	0
17期	2021年8月	0
18期	2022年2月	0
19期	2022年8月	0
	設定来累計	0

*分配金は税引前1万口当たりの金額です。

*基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

国（地域）別構成状況

投資国/地域 1	投資比率 2
アメリカ	98.7%

通貨別構成状況

通貨	投資比率 2
米ドル	98.7%

*ファンドにおいて、為替ヘッジを行っています。

業種別構成状況

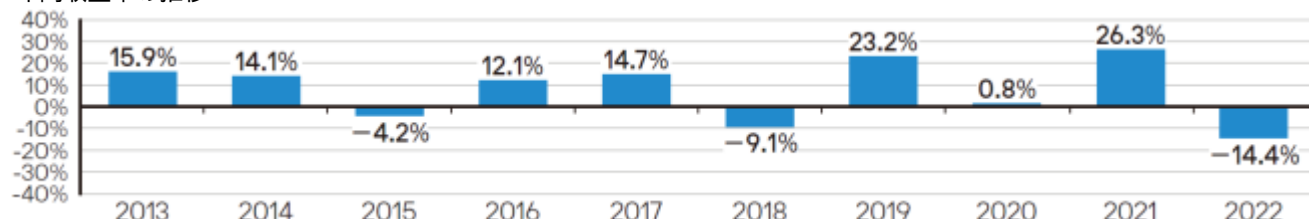
業種	投資比率 2
ヘルスケア機器・サービス	10.1%
資本財	9.6%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.5%
エネルギー	8.8%
各種金融	8.8%
その他	49.7%

*上記比率にファンドで保有する投資信託証券は含んでいません。

組入上位銘柄

順位	銘柄名	投資国/地域 ^{*1}	通貨	業種	投資比率 ^{*2}
1	コノコフィリップス	アメリカ	米ドル	エネルギー	3.1%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
3	プリストルマイヤーズスクイブ	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
4	エクソンモービル	アメリカ	米ドル	エネルギー	2.7%
5	レイセオン・テクノロジー	アメリカ	米ドル	資本財	2.3%
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%
7	バンク・オブ・アメリカ	アメリカ	米ドル	銀行	1.9%
8	EOGリソーシズ	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.9%
9	CVSヘルス	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.9%
10	ゼネラル・ダイナミクス	アメリカ	米ドル	資本財	1.8%

年間収益率の推移



*年間収益率(%) = (年末営業日の基準価額 ÷ 前年末営業日の基準価額 - 1) × 100

*2013年の年間収益率は設定日から年末営業日、2022年の年間収益率は前年末営業日から2022年9月30日までのものです。

*ベンチマークは設定していません。

*投資信託証券とは、投資信託もしくは外国投資信託の受益証券、投資証券、または外国投資証券の総称です。

*当ページにおける「ファンド」は、J P M北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）です。

運用実績において、金額は表示単位以下を切捨て、投資比率および収益率は表示単位以下を四捨五入して記載しています。

- 「投資国/地域」は、「第1ファンドの状況 1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 (イ) ファンドの目的」の記載に基づき、どこの国への投資であるかを委託会社が分類し、記載したものです。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています。

第3【ファンドの経理状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」について、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、3ヵ月決算型)

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2. 当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。

3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19特定期間(2022年3月1日から2022年8月26日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

1 【財務諸表】

【JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	4,872,302,021	6,040,251,140
未収入金	8,482,762	3,091,843
流動資産合計	4,880,784,783	6,043,342,983
資産合計	4,880,784,783	6,043,342,983
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	-	378,534,258
未払解約金	8,482,762	3,091,843
未払受託者報酬	654,450	736,367
未払委託者報酬	19,633,527	22,091,053
その他未払費用	286,193	318,806
流動負債合計	29,056,932	404,772,327
負債合計	29,056,932	404,772,327
純資産の部		
元本等		
元本	1 4,788,641,682	1 5,407,632,271
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	63,086,169	230,938,385
（分配準備積立金）	16,990,325	129,065,853
元本等合計	4,851,727,851	5,638,570,656
純資産合計	4,851,727,851	5,638,570,656
負債純資産合計	4,880,784,783	6,043,342,983

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	当期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
営業収益		
有価証券売買等損益	377,008,628	883,596,516
営業収益合計	377,008,628	883,596,516
営業費用		
受託者報酬	1,297,073	1,423,286
委託者報酬	138,912,112	142,698,548
その他費用	567,129	616,165
営業費用合計	40,776,314	44,737,999
営業利益又は営業損失()	336,232,314	838,858,517
経常利益又は経常損失()	336,232,314	838,858,517
当期純利益又は当期純損失()	336,232,314	838,858,517
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	766,086	23,689,663
期首剰余金又は期首欠損金()	140,538,375	63,086,169
剰余金増加額又は欠損金減少額	22,214,032	89,798,036
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	22,214,032	89,798,036
剰余金減少額又は欠損金増加額	4,979,994	7,523,688
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	4,979,994	7,523,688
分配金	2430,152,472	2729,590,986
期末剰余金又は期末欠損金()	63,086,169	230,938,385

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	当財務諸表対象期間
1. 有価証券の評価基準および評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	特定期間末日の取扱い 2022年2月26日および2022年2月27日が休日のため、信託約款第34条により、第18特定期間末日を2022年2月28日としております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当特定期間の翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区分	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
1 期首元本額	4,256,699,253円	4,788,641,682円
期中追加設定元本額	810,333,199円	1,173,306,263円
期中一部解約元本額	278,390,770円	554,315,674円
受益権の総数	4,788,641,682口	5,407,632,271口
1 口当たりの純資産額	1.0132円	1.0427円
(1 万口当たりの純資産額)	(10,132円)	(10,427円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	前期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	当期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
1 信託財産の運用の指図に関する権限の全部または一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	純資産総額に年率0.4%を乗じて得た額	同左
2 分配金の計算過程		
	(自 2021年 8月27日 至 2021年11月26日)	(自 2022年 3月 1日 至 2022年 5月26日)
費用控除後の配当等収益額	21,199,947円	24,564,583円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	300,170,041円	283,004,160円
収益調整金額	80,287,281円	92,489,220円
分配準備積立金額	111,795,694円	16,110,642円
当ファンドの分配対象収益額	513,452,963円	416,168,605円
当ファンドの期末残存口数	4,527,920,764口	5,015,096,125口
1万口当たり収益分配対象額	1,133.97円	829.83円
1万口当たり分配金額	950.00円	700.00円
収益分配金金額	430,152,472円	351,056,728円
	(自 2021年11月27日 至 2022年 2月28日)	(自 2022年 5月27日 至 2022年 8月26日)
費用控除後の配当等収益額	10,573,468円	31,048,321円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	3,522,772円	476,551,790円
収益調整金額	85,800,043円	101,872,532円
分配準備積立金額	2,894,085円	- 円
当ファンドの分配対象収益額	102,790,368円	609,472,643円
当ファンドの期末残存口数	4,788,641,682口	5,407,632,271口
1万口当たり収益分配対象額	214.65円	1,127.06円
1万口当たり分配金額	- 円	700.00円
収益分配金金額	- 円	378,534,258円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する注記

	当財務諸表対象期間
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容およびそのリスク	当ファンドが保有した主な金融商品は、以下に記載される親投資信託受益証券であります。 G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用） 親投資信託の受益証券を主要投資対象として運用を行うため、親投資信託受益証券と同様のリスクを伴います。親投資信託受益証券には、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性のリスクがあります。当該リスクは結果的に当ファンドに影響を及ぼします。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドで投資対象とする金融商品に係るリスク管理体制は次のとおりです。 (1)運用部門から独立したインベストメント・ダイレクターは、運用成果やリスク水準のチェック等を行います。 (2)リスク管理部門は、投資制限遵守状況の管理等、運用状況の管理・監督を行っています。

金融商品の時価等に関する事項

	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価およびその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 (2)有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)有価証券以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
	最終計算期間の損益に含まれた 評価差額（円）	最終計算期間の損益に含まれた 評価差額（円）
親投資信託受益証券	37,901,642	533,730,048
合計	37,901,642	533,730,048

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表（2022年８月26日現在）

（イ）株式

該当事項はありません。

（ロ）株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託 受益証券	日本円	G I M北米高配当株式マザーファンド（適 格機関投資家専用）	1,349,957,791	6,040,251,140	
合計			1,349,957,791	6,040,251,140	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引および為替予約取引の契約額等および時価の状況表

該当事項はありません。

JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型)

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19特定期間(2022年3月1日から2022年8月26日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

【JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	295,692,167	296,796,688
派生商品評価勘定	52,461	277,863
未収入金	1,006	55,123
流動資産合計	295,745,634	297,129,674
資産合計	295,745,634	297,129,674
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,318,845	8,203,042
未払解約金	1,006	55,123
未払受託者報酬	41,657	37,384
未払委託者報酬	1,249,607	1,121,516
その他未払費用	16,633	14,923
流動負債合計	2,627,748	9,431,988
負債合計	2,627,748	9,431,988
純資産の部		
元本等		
元本	1,290,474,948	1,292,045,219
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,264,293	2,434,533
（分配準備積立金）	300,912	1,671,964
元本等合計	293,117,886	287,697,686
純資産合計	293,117,886	287,697,686
負債純資産合計	295,745,634	297,129,674

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	当期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
営業収益		
有価証券売買等損益	24,006,886	49,981,257
為替差損益	14,809,953	54,351,889
営業収益合計	9,196,933	4,370,632
営業費用		
受託者報酬	83,206	76,546
委託者報酬	12,496,043	12,296,266
その他費用	3116,803	3578,249
営業費用合計	2,696,052	2,951,061
営業利益又は営業損失（ ）	6,500,881	7,321,693
経常利益又は経常損失（ ）	6,500,881	7,321,693
当期純利益又は当期純損失（ ）	6,500,881	7,321,693
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	27,195	142,405
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	3,774,399	2,642,938
剰余金増加額又は欠損金減少額	145,189	797,699
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	742,909
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	145,189	54,790
剰余金減少額又は欠損金増加額	541,505	608,882
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	541,505	101,453
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	507,429
分配金	27,263,221	2-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,642,938	4,347,533

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	当財務諸表対象期間
1. 有価証券の評価基準および評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準および評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買取相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	特定期間末日の取扱い 2022年2月26日および2022年2月27日が休日のため、信託約款第34条により、第18特定期間末日を2022年2月28日としております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当特定期間の翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区分	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
1 期首元本額	327,501,613円	290,474,948円
期中追加設定元本額	10,082,438円	37,388,459円
期中一部解約元本額	47,109,103円	35,818,188円
2 元本の欠損	- 円	4,347,533円
受益権の総数	290,474,948口	292,045,219口
1 口当たりの純資産額	1.0091円	0.9851円
(1万口当たりの純資産額)	(10,091円)	(9,851円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	前期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	当期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
1 信託財産の運用の指図に関する権限の全部または一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	純資産総額に年率 0.4075%を乗じて得た額	同左
2 分配金の計算過程	(自 2021年 8月27日 至 2021年11月26日)	(自 2022年 3月 1日 至 2022年 5月26日)
費用控除後の配当等収益額	1,239,000円	152,465円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	6,035,971円	- 円
収益調整金額	3,382,628円	119,123円
分配準備積立金額	- 円	289,688円
当ファンドの分配対象収益額	10,657,599円	561,276円
当ファンドの期末残存口数	290,528,847口	297,988,086口
1万口当たり収益分配対象額	366.83円	18.83円
1万口当たり分配金額	250.00円	- 円
収益分配金金額	7,263,221円	- 円
	(自 2021年11月27日 至 2022年 2月28日)	(自 2022年 5月27日 至 2022年 8月26日)
費用控除後の配当等収益額	289,250円	1,265,906円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	- 円	- 円
収益調整金額	2,342,026円	149,655円
分配準備積立金額	11,662円	406,058円
当ファンドの分配対象収益額	2,642,938円	1,821,619円
当ファンドの期末残存口数	290,474,948口	292,045,219口
1万口当たり収益分配対象額	90.98円	62.37円
1万口当たり分配金額	- 円	- 円
収益分配金金額	- 円	- 円
3 その他費用の内訳	-	カストディフィー 541,749円 その他 36,500円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する注記

	当財務諸表対象期間
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容およびそのリスク	<p>当ファンドが保有した主な金融商品は、以下に記載される親投資信託受益証券およびデリバティブ取引であります。</p> <p>G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）</p> <p>親投資信託の受益証券を主要投資対象として運用を行うため、親投資信託受益証券と同様のリスクを伴います。親投資信託受益証券には、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性のリスクがあります。当該リスクは結果的に当ファンドに影響を及ぼします。</p> <p>なお、デリバティブ取引は、通貨関連では信託財産の効率的な運用に資する目的ならびに外貨建資産の為替変動リスクの回避を目的として利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>当ファンドで投資対象とする金融商品に係るリスク管理体制は次のとおりです。</p> <p>(1)運用部門から独立したインベストメント・ダイレクターは、運用成果やリスク水準のチェック等を行います。</p> <p>(2)リスク管理部門は、投資制限遵守状況の管理等、運用状況の管理・監督を行っています。</p> <p>(3)当ファンドは、運用の一部または全部について外部委託をしております。</p> <p>運用商品部門は外部委託先が適切に運用業務を行っているか継続的にモニタリングします。運用商品部門はその結果重大な問題があると判断する場合は、リスク管理を担当する部署が主催し、リスク管理上の重要な事項について決議または審議を行う委員会に報告し、対応を協議します。また運用商品部門は、委託先の業務遂行能力に問題があると判断した場合は、同委員会に報告します。</p>

金融商品の時価等に関する事項

	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価およびその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 (2022年2月28日現在)	当期 (2022年8月26日現在)
	最終計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)	最終計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	2,163,387	26,505,660
合計	2,163,387	26,505,660

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

区分	種類	前期(2022年2月28日現在)				当期(2022年8月26日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場 取引 以外の 取引	為替予約取引 買建 アメリカドル	23,249,636	-	23,294,245	44,609	15,940,104	-	16,217,967	277,863
	売建 アメリカドル	304,185,481	-	305,496,474	1,310,993	300,675,629	-	308,878,671	8,203,042
合計		327,435,117	-	328,790,719	1,266,384	316,615,733	-	325,096,638	7,925,179

(注) 1. 為替予約の時価の算定方法

- (1) 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
為替予約の受渡日（以下「当該日」という。）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は当該為替予約は当該仲値で評価しております。
当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
- ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。
 - ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。
- (2) 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。
2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等および時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表（2022年8月26日現在）

(イ) 株式

該当事項はありません。

(ロ) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託 受益証券	日本円	G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）	66,332,176	296,796,688	
合計			66,332,176	296,796,688	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引および為替予約取引の契約額等および時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「デリバティブ取引等に関する注記 取引の時価等に関する事項」に開示しておりますので、記載を省略しております。

JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、年2回決算型)

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6ヵ月であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19期計算期間(2022年3月1日から2022年8月26日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

【 J P M北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）】

（ 1 ）【貸借対照表】

（単位：円）

	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	4,310,909,573	5,017,602,818
未収入金	3,383,174	8,528,532
流動資産合計	4,314,292,747	5,026,131,350
資産合計	4,314,292,747	5,026,131,350
負債の部		
流動負債		
未払解約金	3,383,174	8,528,532
未払受託者報酬	1,111,855	1,271,599
未払委託者報酬	33,355,529	38,147,738
その他未払費用	444,671	508,580
流動負債合計	38,295,229	48,456,449
負債合計	38,295,229	48,456,449
純資産の部		
元本等		
元本	1,500,499,344	1,486,936,885
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,775,498,174	3,490,738,016
（分配準備積立金）	1,434,651,334	1,840,866,636
元本等合計	4,275,997,518	4,977,674,901
純資産合計	4,275,997,518	4,977,674,901
負債純資産合計	4,314,292,747	5,026,131,350

（ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第18期 (自 2021年 8 月27日 至 2022年 2 月28日)	第19期 (自 2022年 3 月 1 日 至 2022年 8 月26日)
営業収益		
有価証券売買等損益	314,346,710	804,584,647
営業収益合計	314,346,710	804,584,647
営業費用		
受託者報酬	1,111,855	1,271,599
委託者報酬	133,355,529	138,147,738
その他費用	444,671	508,580
営業費用合計	34,912,055	39,927,917
営業利益又は営業損失（ ）	279,434,655	764,656,730
経常利益又は経常損失（ ）	279,434,655	764,656,730
当期純利益又は当期純損失（ ）	279,434,655	764,656,730
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	27,082,175	88,633,758
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	2,332,078,816	2,775,498,174
剰余金増加額又は欠損金減少額	511,322,424	631,225,369
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	511,322,424	631,225,369
剰余金減少額又は欠損金増加額	320,255,546	592,008,499
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	320,255,546	592,008,499
分配金	2 -	2 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,775,498,174	3,490,738,016

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	当財務諸表対象期間
1. 有価証券の評価基準および評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	計算期間末日の取扱い 2022年2月26日および2022年2月27日が休日のため、信託約款第34条により、第18期計算期間末日を2022年2月28日としております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区分	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
1期首元本額	1,408,494,711円	1,500,499,344円
期中追加設定元本額	284,572,871円	302,745,415円
期中一部解約元本額	192,568,238円	316,307,874円
受益権の総数	1,500,499,344口	1,486,936,885口
1口当たりの純資産額 (1万口当たりの純資産額)	2.8497円 (28,497円)	3.3476円 (33,476円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区分	第18期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	第19期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
1 信託財産の運用の指図に関する権限の全部または一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	純資産総額に年率0.4%を乗じて得た額	同左
2 分配金の計算過程		
費用控除後の配当等収益額	36,897,300円	48,875,832円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	215,455,180円	627,147,140円
収益調整金額	1,340,846,840円	1,649,871,380円
分配準備積立金額	1,182,298,854円	1,164,843,664円
当ファンドの分配対象収益額	2,775,498,174円	3,490,738,016円
当ファンドの期末残存口数	1,500,499,344口	1,486,936,885口
1万口当たり収益分配対象額	18,497.16円	23,476.03円
1万口当たり分配金額	- 円	- 円
収益分配金金額	- 円	- 円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する注記

	当財務諸表対象期間
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容およびそのリスク	当ファンドが保有した主な金融商品は、以下に記載される親投資信託受益証券であります。 G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用） 親投資信託の受益証券を主要投資対象として運用を行うため、親投資信託受益証券と同様のリスクを伴います。親投資信託受益証券には、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性のリスクがあります。当該リスクは結果的に当ファンドに影響を及ぼします。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドで投資対象とする金融商品に係るリスク管理体制は次のとおりです。 (1)運用部門から独立したインベストメント・ダイレクターは、運用成果やリスク水準のチェック等を行います。 (2)リスク管理部門は、投資制限遵守状況の管理等、運用状況の管理・監督を行っています。

金融商品の時価等に関する事項

	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価およびその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 (2)有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)有価証券以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	291,071,224	717,979,432
合計	291,071,224	717,979,432

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表（2022年8月26日現在）

(イ) 株式

該当事項はありません。

(ロ) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託 受益証券	日本円	G I M北米高配当株式マザーファンド（適 格機関投資家専用）	1,121,402,382	5,017,602,818	
合計			1,121,402,382	5,017,602,818	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引および為替予約取引の契約額等および時価の状況表

該当事項はありません。

JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型)

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6ヵ月であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19期計算期間(2022年3月1日から2022年8月26日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

【 J P M 北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年 2 回決算型）】

（ 1 ） 【貸借対照表】

（単位：円）

	第18期 (2022年 2 月28日現在)	第19期 (2022年 8 月26日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	221,263,899	279,501,432
派生商品評価勘定	40,994	335,945
未収入金	2,222	25,292
流動資産合計	221,307,115	279,862,669
資産合計	221,307,115	279,862,669
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	991,524	8,282,830
未払解約金	2,222	25,292
未払受託者報酬	128,483	72,687
未払委託者報酬	3,854,465	2,180,479
その他未払費用	51,338	29,013
流動負債合計	5,028,032	10,590,301
負債合計	5,028,032	10,590,301
純資産の部		
元本等		
元本	194,727,491	1120,779,579
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	121,551,592	148,492,789
（分配準備積立金）	48,720,850	44,421,375
元本等合計	216,279,083	269,272,368
純資産合計	216,279,083	269,272,368
負債純資産合計	221,307,115	279,862,669

（ 2 ） 【 損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第18期 (自 2021年 8 月27日 至 2022年 2 月28日)	第19期 (自 2022年 3 月 1 日 至 2022年 8 月26日)
営業収益		
有価証券売買等損益	44,394,908	46,887,774
為替差損益	23,025,904	51,013,727
営業収益合計	21,369,004	4,125,953
営業費用		
受託者報酬	128,483	72,687
委託者報酬	13,854,465	12,180,479
その他費用	3134,923	3600,256
営業費用合計	4,117,871	2,853,422
営業利益又は営業損失（ ）	17,251,133	6,979,375
経常利益又は経常損失（ ）	17,251,133	6,979,375
当期純利益又は当期純損失（ ）	17,251,133	6,979,375
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	12,251,589	1,344,669
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	338,261,773	121,551,592
剰余金増加額又は欠損金減少額	30,410,854	48,061,869
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	30,410,854	48,061,869
剰余金減少額又は欠損金増加額	252,120,579	15,485,966
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	252,120,579	15,485,966
分配金	2 -	2 -
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	121,551,592	148,492,789

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	当財務諸表対象期間
1. 有価証券の評価基準および評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準および評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	計算期間末日の取扱い 2022年2月26日および2022年2月27日が休日のため、信託約款第34条により、第18期計算期間末日を2022年2月28日としております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

区分	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
1 期首元本額	277,128,721円	94,727,491円
期中追加設定元本額	24,046,071円	38,158,731円
期中一部解約元本額	206,447,301円	12,106,643円
受益権の総数	94,727,491口	120,779,579口
1 口当たりの純資産額	2.2832円	2.2295円
(1 万口当たりの純資産額)	(22,832円)	(22,295円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区分	第18期 (自 2021年 8月27日 至 2022年 2月28日)	第19期 (自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月26日)
1 信託財産の運用の指図に関する権限の全部または一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	純資産総額に年率0.4075%を乗じて得た額	同左
2 分配金の計算過程		
費用控除後の配当等収益額	1,197,612円	222,199円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	3,801,932円	- 円
収益調整金額	72,830,742円	104,071,414円
分配準備積立金額	43,721,306円	44,199,176円
当ファンドの分配対象収益額	121,551,592円	148,492,789円
当ファンドの期末残存口数	94,727,491口	120,779,579口
1万口当たり収益分配対象額	12,831.71円	12,294.52円
1万口当たり分配金額	- 円	- 円
収益分配金金額	- 円	- 円
3 その他費用の内訳	-	カストディフィー 565,303円 その他 34,953円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する注記

	当財務諸表対象期間
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容およびそのリスク	当ファンドが保有した主な金融商品は、以下に記載される親投資信託受益証券およびデリバティブ取引であります。 G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用） 親投資信託の受益証券を主要投資対象として運用を行うため、親投資信託受益証券と同様のリスクを伴います。親投資信託受益証券には、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性のリスクがあります。当該リスクは結果的に当ファンドに影響を及ぼします。 なお、デリバティブ取引は、通貨関連では信託財産の効率的な運用に資する目的ならびに外貨建資産の為替変動リスクの回避を目的として利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドで投資対象とする金融商品に係るリスク管理体制は次のとおりです。 (1)運用部門から独立したインベストメント・ダイレクターは、運用成果やリスク水準のチェック等を行います。 (2)リスク管理部門は、投資制限遵守状況の管理等、運用状況の管理・監督を行っています。 (3)当ファンドは、運用の一部または全部について外部委託をしております。 運用商品部門は外部委託先が適切に運用業務を行っているか継続的にモニタリングします。運用商品部門はその結果重大な問題があると判断する場合は、リスク管理を担当する部署が主催し、リスク管理上の重要な事項について決議または審議を行う委員会に報告し、対応を協議します。また運用商品部門は、委託先の業務遂行能力に問題があると判断した場合は、同委員会に報告します。

金融商品の時価等に関する事項

	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価およびその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第18期 (2022年2月28日現在)	第19期 (2022年8月26日現在)
	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	14,080,268	41,259,013
合計	14,080,268	41,259,013

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

区分	種類	第18期(2022年2月28日現在)				第19期(2022年8月26日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場 取引 以外の 取引	為替予約取引 買建								
	アメリカドル	17,634,993	-	17,663,639	28,646	20,101,137	-	20,437,082	335,945
	売建								
	アメリカドル	235,454,869	-	236,434,045	979,176	293,281,962	-	301,564,792	8,282,830
合計		253,089,862	-	254,097,684	950,530	313,383,099	-	322,001,874	7,946,885

（注）1．為替予約の時価の算定方法

- （1）対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
為替予約の受渡日（以下「当該日」という。）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は当該為替予約は当該仲値で評価しております。
当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
- ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。
 - ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。
- （2）対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。
- 2．換算において円未満の端数は切り捨てております。
- 3．契約額等および時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表（2022年8月26日現在）

（イ）株式

該当事項はありません。

（ロ）株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託 受益証券	日本円	G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）	62,466,796	279,501,432	
合計			62,466,796	279,501,432	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引および為替予約取引の契約額等および時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「デリバティブ取引等に関する注記 取引の時価等に関する事項」に開示しておりますので、記載を省略しております。

（参考）

当ファンドは「G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、全て同親投資信託の受益証券であります。

尚、同親投資信託の状況は以下の通りであります。

「G I M北米高配当株式マザーファンド（適格機関投資家専用）」の状況

尚、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

（単位：円）

区分	注記 番号	(2022年2月28日現在)	(2022年8月26日現在)
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		215,019,625	221,560,877
金銭信託		83,354,808	156,789,039
株式		9,128,011,242	10,979,970,387
投資証券		261,031,684	270,961,898
派生商品評価勘定		60,112	-
未収入金		8,795,584	6,398,130
未収配当金		15,870,080	18,549,008
流動資産合計		9,712,143,135	11,654,229,339
資産合計		9,712,143,135	11,654,229,339
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		-	496,231
未払金		-	7,958,978
未払解約金		11,869,164	11,700,790
流動負債合計		11,869,164	20,155,999
負債合計		11,869,164	20,155,999
純資産の部			
元本等			
元本	1	2,566,657,228	2,600,159,145
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		7,133,616,743	9,033,914,195
元本等合計		9,700,273,971	11,634,073,340
純資産合計		9,700,273,971	11,634,073,340
負債純資産合計		9,712,143,135	11,654,229,339

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	当財務諸表対象期間
1. 有価証券の評価基準および評価方法	<p>株式および投資証券 移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1)金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場（外貨建証券の場合は知りうる直近の最終相場）で評価しております。 当該金融商品取引所等の最終相場がない場合には、当該金融商品取引所等における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該金融商品取引所等における気配相場で評価しております。</p> <p>(2)金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融機関の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3)時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準および評価方法	<p>為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条および第61条に従って処理しております。</p>

(重要な会計上の見積りに関する注記)

(2022年 2月28日現在)	(2022年 8月26日現在)
当期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当期間の翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

（貸借対照表に関する注記）

区分	(2022年 2月28日現在)	(2022年 8月26日現在)
1期首元本額	2,780,642,941円	2,566,657,228円
期中追加設定元本額	463,702,665円	562,151,188円
期中解約元本額	677,688,378円	528,649,271円
元本の内訳（注）		
JPM北米高配当・成長株ファンド （為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）	1,289,207,531円	1,349,957,791円
JPM北米高配当・成長株ファンド （米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算 型）	78,239,930円	66,332,176円
JPM北米高配当・成長株ファンド （為替ヘッジなし、年2回決算型）	1,140,663,502円	1,121,402,382円
JPM北米高配当・成長株ファンド （米ドル対円ヘッジあり、年2回決算 型）	58,546,265円	62,466,796円
合 計	2,566,657,228円	2,600,159,145円
受益権の総数	2,566,657,228口	2,600,159,145口
1口当たりの純資産額 （1万口当たりの純資産額）	3.7793円 (37,793円)	4.4744円 (44,744円)

（注）当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する注記

	当財務諸表対象期間
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容およびそのリスク	当ファンドが保有した主な金融商品は、株式、投資証券およびデリバティブ取引であり、当ファンドで利用しているデリバティブ取引は、通貨関連では為替予約取引であります。当ファンドが保有した金融商品およびデリバティブ取引には、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性のリスクがあります。 なお、デリバティブ取引は、通貨関連では信託財産の効率的な運用に資する目的として利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドで投資対象とする金融商品に係るリスク管理体制は次のとおりです。 (1)運用部門から独立したインベストメント・ダイレクターは、運用成果やリスク水準のチェック等を行います。 (2)リスク管理部門は、投資制限遵守状況の管理等、運用状況の管理・監督を行っています。 (3)当ファンドは、運用の一部または全部について外部委託をしております。 運用商品部門は外部委託先が適切に運用業務を行っているか継続的にモニタリングします。運用商品部門はその結果重大な問題があると判断する場合は、リスク管理を担当する部署が主催し、リスク管理上の重要な事項について決議または審議を行う委員会に報告し、対応を協議します。また運用商品部門は、委託先の業務遂行能力に問題があると判断した場合は、同委員会に報告します。

金融商品の時価等に関する事項

	(2022年2月28日現在)	(2022年8月26日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価およびその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券およびデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	(2022年2月28日現在)	(2022年8月26日現在)
	当期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当期間の損益に含まれた評価差額 (円)
株式	181,841,913	81,571,106
投資証券	12,200,685	48,023,087
合計	194,042,598	129,594,193

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

区分	種類	(2022年2月28日現在)				(2022年8月26日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場 取引 以外 の取 引	為替予約取引								
	売建 アメリカドル	180,000,000	-	179,939,888	60,112	200,837,162	-	201,333,393	496,231
合計		180,000,000	-	179,939,888	60,112	200,837,162	-	201,333,393	496,231

（注）1．為替予約の時価の算定方法

（1）対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」という。）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は当該為替予約は当該仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。
- ・当該日を越える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。

（2）対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

2．換算において円未満の端数は切り捨てております。

3．契約額等および時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表（2022年8月26日現在）

(イ) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額単価	評価額金額	備考
アメリカドル	CHEVRON CORP	5,513	164.62	907,550.06	
	CONOCOPHILLIPS	22,380	112.08	2,508,350.40	
	EOG RESOURCES INC	12,437	125.22	1,557,361.14	
	EXXON MOBIL CORPORATION	21,909	99.09	2,170,962.81	
	VALERO ENERGY CORPORATION	894	123.36	110,283.84	
	AIR PRODUCTS AND CHEMICALS INC	5,226	266.59	1,393,199.34	
	PPG INDUSTRIES INC	9,415	132.16	1,244,286.40	
	DEERE & COMPANY	2,409	388.15	935,053.35	
	DOVER CORPORATION	8,444	134.97	1,139,686.68	
	EATON CORP PLC	5,919	148.05	876,307.95	
	GENERAL DYNAMICS CORP	6,179	238.01	1,470,663.79	
	NORTHROP GRUMMAN CORPORATION	1,881	494.48	930,116.88	
	PARKER HANNIFIN CORPORATION	3,081	292.38	900,822.78	
	RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	20,237	96.13	1,945,382.81	
	TRANE TECHNOLOGIES PUBLIC LIMITED COMPAN	514	161.23	82,872.22	
	REPUBLIC SERVICES INC	3,612	147.56	532,986.72	
	NORFOLK SOUTHERN CORP	4,437	262.99	1,166,886.63	
	UNITED PARCEL SERVICE INC-CL B	7,128	205.00	1,461,240.00	
	MCDONALD'S CORPORATION	4,500	262.56	1,181,520.00	
	STARBUCKS CORPORATION	7,600	87.39	664,164.00	
	COMCAST CORP-CL A	37,976	37.60	1,427,897.60	
	ADVANCE AUTO PARTS INC	3,646	180.99	659,889.54	
	BEST BUY CO INC	6,084	78.19	475,707.96	
	HOME DEPOT INC	3,824	309.78	1,184,598.72	
	THE TJX COMPANIES INC	16,974	65.09	1,104,837.66	
	SYSCO CORPORATION	15,201	86.39	1,313,214.39	
	WALMART INC	7,757	135.87	1,053,943.59	
	COCA-COLA COMPANY	13,654	64.67	883,004.18	
	MONDELEZ INTERNATIONAL INC	17,201	64.46	1,108,776.46	
	PEPSICO INC	4,644	179.27	832,529.88	
	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	15,851	98.19	1,556,409.69	
	PROCTER & GAMBLE CO	7,001	145.70	1,020,045.70	
	ABBOTT LABORATORIES	6,489	105.89	687,120.21	
	AMERISOURCEBERGEN CORPORATION	4,644	150.42	698,550.48	
	BECTON DICKINSON AND COMPANY	2,864	260.01	744,668.64	
	CIGNA CORPORATION	3,248	291.85	947,928.80	
	CVS HEALTH CORPORATION	14,570	102.15	1,488,325.50	
	MEDTRONIC PLC	12,814	92.14	1,180,681.96	
	UNITEDHEALTH GROUP INC	4,528	541.57	2,452,228.96	
	ABBVIE INC	9,166	139.33	1,277,098.78	
	AMGEN INC	1,875	245.68	460,650.00	
	BRISTOL-MYERS SQUIBB COMPANY	28,086	71.50	2,008,149.00	
	ELI LILLY AND COMPANY	2,481	323.14	801,710.34	
	JOHNSON & JOHNSON	9,436	167.13	1,577,038.68	
	MERCK & CO INC	3,501	90.27	316,035.27	
	PFIZER INC	13,045	47.90	624,855.50	

	BANK OF AMERICA CORP	46,145	35.14	1,621,535.30	
	CITIGROUP INC	14,917	52.06	776,579.02	
	PNC FINANCIAL SERVICES GROUP INC	7,637	168.90	1,289,889.30	
	TRUIST FINANCIAL CORPORATOIN	13,427	49.63	666,382.01	
	US BANCORP	14,303	47.76	683,111.28	
	WELLS FARGO COMPANY	19,547	45.39	887,238.33	
	AMERICAN EXPRESS COMPANY	6,220	162.23	1,009,070.60	
	BLACKROCK INC	2,135	710.60	1,517,131.00	
	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	6,838	113.66	777,207.08	
	CME GROUP INC	5,960	199.13	1,186,814.80	
	MORGAN STANLEY	16,420	89.91	1,476,322.20	
	NORTHERN TRUST CORPORATION	2,464	99.00	243,936.00	
	T ROWE PRICE GROUP INC	4,368	126.39	552,071.52	
	THE CHARLES SCHWAB CORPORATION	9,953	74.00	736,522.00	
	ARTHUR J GALLAGHER & CO	3,941	191.08	753,046.28	
	CHUBB LIMITED	4,897	197.51	967,206.47	
	HARTFORD FINANCIAL SERVICES GROUP INC	9,134	67.68	618,189.12	
	MARSH & MCLENNAN COMPANIES INC	1,877	170.37	319,784.49	
	METLIFE INC	11,417	67.27	768,021.59	
	THE PROGRESSIVE CORPORATION	5,214	126.43	659,206.02	
	ACCENTURE PLC-CL A	1,265	309.77	391,859.05	
	FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	1,956	96.17	188,108.52	
	INTL BUSINESS MACHINES CORP	5,383	133.98	721,214.34	
	MICROSOFT CORP	3,493	278.85	974,023.05	
	APPLE INC	1,949	170.03	331,388.47	
	CORNING INCORPORATED	16,575	35.85	594,213.75	
	SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS PUBLIC LIMIT	6,991	79.24	553,966.84	
	VERIZON COMMUNICATIONS	13,480	43.74	589,615.20	
	CMS ENERGY CORP	8,976	69.64	625,088.64	
	DOMINION ENERGY INC	4,911	84.30	413,997.30	
	NEXTERA ENERGY INC	16,130	89.39	1,441,860.70	
	PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GROUP	6,623	67.80	449,039.40	
	XCEL ENERGY INC	12,574	76.08	956,629.92	
	ANALOG DEVICES INC	9,360	167.07	1,563,775.20	
	NXP SEMICONDUCTORS NV	4,595	179.02	822,596.90	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	6,171	177.31	1,094,180.01	
小計	銘柄数 :	82		80,286,416.99	
				(10,979,970,387)	
	組入時価比率 :	94.4%		100.0%	
合計				10,979,970,387	
				(10,979,970,387)	

(注)各通貨計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、および各通貨計欄の合計金額に対する比率であります。

(口) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	銘柄数 比率	券面総額	評価額	備考
投資証券	アメリカドル	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES INC-REIT		1,876	303,818.20	
		AVALONBAY COMMUNITIES INC-REIT		1,977	421,872.03	
		BOSTON PROPERTIES INC-REIT		3,129	263,211.48	
		PROLOGIS INC-REIT		4,956	658,057.68	
		VENTAS INC-REIT		6,819	334,335.57	
	計	銘柄数：	5	18,757	1,981,294.96	
					(270,961,898)	
		組入時価比率：	2.3%		100.0%	
	小計				270,961,898	
					(270,961,898)	
	合計				270,961,898	
					(270,961,898)	

(注) 各通貨計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注) 小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、および各通貨計欄の合計金額に対する比率であります。

(注) 投資証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引および為替予約取引の契約額等および時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「デリバティブ取引等に関する注記 取引の時価等に関する事項」に開示しておりますので、記載を省略しております。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

< JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、3ヵ月決算型) >

(2022年9月30日現在)

種類	金額	単位
資産総額	5,854,018,585	円
負債総額	10,858,252	円
純資産総額(-)	5,843,160,333	円
発行済口数	5,920,337,051	口
1口当たり純資産額(/)	0.9870	円

< JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型) >

(2022年9月30日現在)

種類	金額	単位
資産総額	242,354,995	円
負債総額	4,462,846	円
純資産総額(-)	237,892,149	円
発行済口数	271,006,365	口
1口当たり純資産額(/)	0.8778	円

< JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、年2回決算型) >

(2022年9月30日現在)

種類	金額	単位
資産総額	4,959,432,529	円
負債総額	11,195,369	円
純資産総額(-)	4,948,237,160	円
発行済口数	1,561,632,538	口
1口当たり純資産額(/)	3.1686	円

< JPM北米高配当・成長株ファンド(米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型) >

(2022年9月30日現在)

種類	金額	単位
資産総額	251,755,928	円
負債総額	2,906,904	円
純資産総額(-)	248,849,024	円
発行済口数	125,318,914	口
1口当たり純資産額(/)	1.9857	円

(参考) G I M北米高配当株式マザーファンド(適格機関投資家専用)

(2022年9月30日現在)

種類	金額	単位
資産総額	11,817,257,408	円
負債総額	517,139,236	円
純資産総額(-)	11,300,118,172	円
発行済口数	2,663,543,576	口
1口当たり純資産額(/)	4.2425	円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

< 訂正前 >

資本金の額（2022年3月末現在）

（略）

（略）

投資運用の意思決定機構

（イ）、（ロ）（略）

（注）前記（イ）および（ロ）の意思決定機構、組織名称等は、2022年3月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

< 訂正後 >

資本金の額（2022年9月末現在）

（略）

（略）

投資運用の意思決定機構

（イ）、（ロ）（略）

（注）前記（イ）および（ロ）の意思決定機構、組織名称等は、2022年9月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

届出書「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況」について、以下の内容に更新・訂正されます。

< 更新・訂正後 >

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行うとともに、金融商品取引法に定める金融商品取引業者として当該証券投資信託および投資一任契約に基づき委託された資産の運用（投資運用業）を行っています。また金融商品取引法に定める以下の業務を行っています。

- ・投資助言・代理業
- ・有価証券の募集もしくは売出しの取扱いまたは私募の取扱いに関する第一種金融商品取引業
- ・有価証券の募集もしくは売出しの取扱いまたは私募の取扱い、および証券投資信託の募集または私募に関する第二種金融商品取引業

委託会社が設定・運用している投資信託は、2022年9月末現在以下のとおりです（親投資信託は本数のみ。 ）。

	本数	純資産額（百万円）
公募追加型株式投資信託	59	721,652
公募単位型株式投資信託	-	-

公募追加型債券投資信託	-	-
公募単位型債券投資信託	-	-
私募投資信託	70	5,039,106
総合計	129	5,760,758
親投資信託	49	-

(注) 百万円未満は四捨五入

3【委託会社等の経理状況】

原届出書「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」について、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

1．委託会社であるJ Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号。以下「金融商品取引業等に関する内閣府令」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第32期事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の財務諸表について、P w Cあらた有限責任監査法人による監査を受けておりません。

(1) 【貸借対照表】

(単位 : 千円)

	第31期 (2021年 3 月31日)	第32期 (2022年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,142,958	18,159,513
前払費用	21,674	14,017
未収入金	8,485	18,237
未収委託者報酬	2,100,011	1,938,156
未収収益	2,599,647	956,791
関係会社短期貸付金	1,700,000	1,000,000
その他	4,938	14,727
流動資産合計	24,577,716	22,101,444
固定資産		
有形固定資産		
器具備品	21,892	21,892
器具備品減価償却累計額	12,845	16,377
有形固定資産計	9,046	5,514
投資その他の資産		
関係会社株式	60,000	60,000
投資有価証券	192,744	2,343,640
敷金保証金	83,967	76,522
前払年金費用	150,945	189,042
繰延税金資産	393,031	891,939
その他	8,754	5,500
投資その他の資産合計	889,443	3,566,646
固定資産合計	898,490	3,572,160
資産合計	25,476,207	25,673,604

(単位:千円)

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	152,810	172,706
未払金	1,657,429	3,043,065
未払手数料	969,445	900,327
その他未払金	687,983	2,142,738
未払費用	513,505	154,360
未払法人税等	1,604,718	582,160
賞与引当金	852,844	924,994
役員賞与引当金	66,485	54,793
流動負債合計	4,847,794	4,932,080
固定負債		
長期未払金	230,152	259,178
賞与引当金	468,136	743,912
役員賞与引当金	132,202	128,761
固定負債合計	830,491	1,131,851
負債合計	5,678,285	6,063,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,218,000	2,218,000
資本剰余金		
資本準備金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金合計	1,000,000	1,000,000
利益剰余金		
利益準備金	33,676	33,676
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	16,546,042	16,475,344
利益剰余金合計	16,579,718	16,509,020
株主資本合計	19,797,718	19,727,020
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	202	117,348
評価・換算差額等合計	202	117,348
純資産合計	19,797,921	19,609,672
負債・純資産合計	25,476,207	25,673,604

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第31期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	第32期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	11,210,022	11,638,721
運用受託報酬	9,990,252	7,817,385
業務受託報酬	1,781,474	2,379,908
その他営業収益	93,012	132,493
営業収益合計	23,074,762	21,968,508
営業費用		
支払手数料	5,711,697	5,885,809
広告宣伝費	92,591	105,330
調査費	1,989,635	1,887,761
委託調査費	1,704,125	1,597,303
調査費	267,484	273,818
図書費	18,025	16,638
委託計算費	279,663	263,612
営業雑経費	202,218	182,365
通信費	12,892	8,534
印刷費	147,956	138,892
協会費	41,369	34,938
営業費用合計	8,275,806	8,324,879
一般管理費		
給料	5,189,294	5,437,200
役員報酬及び賞与	282,890	325,451
給料・手当	2,896,911	2,845,134
賞与	867,658	1,166,857
賞与引当金繰入額	1,070,437	1,021,409
役員賞与引当金繰入額	71,396	78,348
福利厚生費	376,875	373,895
交際費	12,096	12,247
寄付金	16,761	10,608
旅費交通費	687	3,585
租税公課	171,713	152,691
不動産関連費用	1,071,717	1,074,147
退職給付費用	195,441	179,059
退職金	215,744	48,776
消耗器具備品費	19,208	10,588
事務委託費	246,791	214,091
関係会社等配賦経費	2,096,413	2,065,052
減価償却費	6,092	3,532
諸経費	70,894	89,441
一般管理費合計	9,689,732	9,674,918
営業利益	5,109,223	3,968,710

(単位:千円)

		第31期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	第32期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
営業外収益			
受取配当金	1	352,360	24
投資有価証券売却益		268	0
受取利息	1	8,463	5,171
為替差益		27,896	-
その他営業外収益		326	11,371
営業外収益合計		389,316	16,567
営業外費用			
為替差損		-	128,721
その他営業外費用		2,756	-
営業外費用合計		2,756	128,721
経常利益		5,495,782	3,856,556
税引前当期純利益		5,495,782	3,856,556
法人税、住民税及び事業税		1,960,274	1,474,283
法人税等調整額		427,280	447,028
法人税等合計		1,532,993	1,027,254
当期純利益		3,962,788	2,829,301

(3) 【株主資本等変動計算書】

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	2,218,000	1,000,000	1,000,000	33,676	14,583,253	14,616,930	17,834,930
当期変動額							
剰余金の配当	-	-	-	-	2,000,000	2,000,000	2,000,000
当期純利益	-	-	-	-	3,962,788	3,962,788	3,962,788
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	1,962,788	1,962,788	1,962,788
当期末残高	2,218,000	1,000,000	1,000,000	33,676	16,546,042	16,579,718	19,797,718

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	54	54	17,834,985
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	2,000,000
当期純利益	-	-	3,962,788
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)	147	147	147
当期変動額合計	147	147	1,962,936
当期末残高	202	202	19,797,921

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	2,218,000	1,000,000	1,000,000	33,676	16,546,042	16,579,718	19,797,718
当期変動額							
剰余金の配当	-	-	-	-	2,900,000	2,900,000	2,900,000
当期純利益	-	-	-	-	2,829,301	2,829,301	2,829,301
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	70,698	70,698	70,698
当期末残高	2,218,000	1,000,000	1,000,000	33,676	16,475,344	16,509,020	19,727,020

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	202	202	19,797,921
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	2,900,000
当期純利益	-	-	2,829,301
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	117,550	117,550	117,550
当期変動額合計	117,550	117,550	188,249
当期末残高	117,348	117,348	19,609,672

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（1）関係会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

（2）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2．引当金の計上基準

（1）賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に帰属する額を計上しております。

（2）役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に帰属する額を計上しております。

（3）退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務と年金資産の見込額に基づき退職給付引当金を計上しております。ただし、当事業年度末においては、年金資産の額が、退職給付債務に未認識数理計算上の差異等を加減した額を超過するため、資産の部に前払年金費用を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定額法により、発生した事業年度から費用処理しております。

数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定額法により按分額を、それぞれ発生した翌事業年度から費用処理することとしております。

3．固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

器具備品 5年

4．収益及び費用の計上基準

当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、業務受託報酬およびその他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

委託者報酬：当該報酬は投資信託の信託約款に基づき日々の純資産価額を基礎として算定し、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

運用受託報酬：当該報酬は対象顧客との投資一任契約等に基づき純資産価額を基礎として算定し、対象口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

業務受託報酬およびその他営業収益：グループ会社から受領する収益は、当社のグループ会社との契約で定められた算式に基づき月次で算定し、当該報酬は当社がグループ会社にオフショアファンド関連のサービス等を提供する期間にわたり収益として認識しております。

成功報酬：成功報酬は対象となるファンドまたは口座の運用益に対する一定割合、もしくは特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は契約上支払われることが確定した時点で収益として認識しております。

5．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

（会計方針の変更に関する注記）

「収益認識に関する会計基準」を当期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる当期の財務諸表に与える影響はありません。

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」といいます。）等を当期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号2019年7月4日）第44 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる当期の財務諸表に与える影響はありません。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

当事業年度の財務諸表等の作成にあたって行った会計上の見積りが当事業年度の翌事業年度の財務諸表等に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表関係）

関係会社に対する資産及び負債

第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
関係会社に対する資産および負債には区分掲記されたもの以外に注記すべき事項はありません。	関係会社に対する資産および負債には区分掲記されたもの以外に注記すべき事項はありません。

（損益計算書関係）

1 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。

	第31期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	第32期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
関係会社からの受取利息	8,463千円	5,171千円
関係会社からの受取配当金	344,000千円	- 千円

（株主資本等変動計算書関係）

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	56,265	-	-	56,265
合計	56,265	-	-	56,265

2．配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	2,000,000	35,546	2020年3月31日	2020年6月26日

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	56,265	-	-	56,265
合計	56,265	-	-	56,265

2．配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配当額 （円）	基準日	効力発生日
2021年6月24日 定時株主総会	普通株式	2,900,000	51,541	2021年3月31日	2021年6月28日

（リース取引関係）

第31期 （自2020年4月1日 至2021年3月31日）	第32期 （自2021年4月1日 至2022年3月31日）						
該当事項はありません。	オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料は以下のとおりであります。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">1年以内</td> <td style="text-align: right;">2,087千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">7,133千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">9,221千円</td> </tr> </table>	1年以内	2,087千円	1年超	7,133千円	合計	9,221千円
1年以内	2,087千円						
1年超	7,133千円						
合計	9,221千円						

（金融商品関係）

1．金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

自社が設定する投資信託やグループ会社が運用する投資信託について、その設定時に運用上十分な信託財産があることが見込めない場合に、「シードキャピタル」として当該投資信託を自己資金により取得することがあります。

当社は、営業活動援助のため、子会社であるJPMAMジャパン・ケイマン・ファンド・リミテッドへの短期貸付を行っております。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

営業債権のうち、自社が設定・運用する投資信託から受領する未収委託者報酬、及び未収収益のうち国内年金基金等から受領する債権については信託銀行により分別管理されている信託財産から回収され、一般債権とは異なり、信用リスクは極めて低いと認識しております。海外グループ会社に対する未収収益は未払費用と部分的に相殺され、信用リスクが軽減されております。また、外貨建て債権の未収収益については為替の変動リスクに晒されておりますが、外貨建て債務と部分的に相殺され、為替変動リスクが軽減されております。

営業債務である未払金は基本的に3ヶ月以内の支払い期日であり、未払手数料、及び未払費用についてはそのほとんどが6ヶ月以内の支払い期日であります。一部外貨建てのものについては、為替の変動リスクに晒されておりますが、上述の通り外貨建て債権と部分的に相殺され、リスクが軽減されております。

関係会社に対し短期貸付を行っており、関係会社短期貸付金は貸出先の信用リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、3ヶ月の期日であり、金利の変動リスクは僅少です。

投資有価証券のうち、上述のシードキャピタルは、市場価格の変動リスクに晒されております。

敷金保証金は建物等の賃貸契約に関連する保証金であり、差入先の信用リスクに晒されております。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権のうち、海外グループ会社に対する未収収益は担当部署が各関係会社ごとに期日及び残高を定期的に管理し、回収懸念の早期把握を図っております。

関係会社短期貸付金は、子会社であるJPMAMジャパン・ケイマン・ファンド・リミテッドの営業活動から得られるキャッシュ・フローをモニタリングしており、貸倒や回収遅延の懸念はほぼないと認識しております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

外貨建ての営業債権債務のうち、大半を占める米国ドル建ての債権債務に対しての為替変動リスクについては担当部署が月次でモニタリングしており、債権もしくは債務の超過に対して米国ドル建て預金と円建て預金との間で資金移動をして為替変動リスクの軽減に努めております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

各部署からの報告に基づき担当部署が適宜資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

(1) 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、金額的重要性が低いと判断するものは次表には含めておりません。また、「市場価格のない株式等」は次表には含めておりません（（注2）参照）。

第31期（2021年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
長期未払金	230,152	230,152	-
負債計	230,152	230,152	-

（注1）時価と貸借対照表計上額との差額の表への記載を省略しているものとその理由

資産

「現金及び預金」「未収委託者報酬」「未収収益」「関係会社短期貸付金」

これらは短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。

負債

「未払手数料」「その他未払金」「未払費用」

これらは短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。

（注2）市場価格のない株式等

下記の関係会社株式及び投資有価証券（合同会社出資金）については、市場価格のない株式等と認められるため、上表に含めておりません。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額
関係会社株式	60,000
投資有価証券（合同会社出資金）	188,432

第32期（2022年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券	2,034,881	2,034,881	-
資産計	2,034,881	2,034,881	-
長期未払金	259,178	259,178	-
負債計	259,178	259,178	-

（注1）時価と貸借対照表計上額との差額の表への記載を省略しているものとその理由

資産

「現金及び預金」「未収委託者報酬」「未収収益」「関係会社短期貸付金」

これらは短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。

負債

「未払手数料」「その他未払金」「未払費用」

これらは短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。

（注2）市場価格のない株式等

下記の関係会社株式及び投資有価証券（合同会社出資金）については、市場価格のない株式等と認められるため、上表に含めておりません。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額
関係会社株式	60,000
投資有価証券（合同会社出資金）	308,759

（2）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

（3）金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融商品以外の金融商品

第31期（2021年3月31日）

（単位：千円）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期未払金	-	230,152	-	230,152
負債計	-	230,152	-	230,152

第32期（2022年3月31日）

（単位：千円）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期未払金	-	259,178	-	259,178
負債計	-	259,178	-	259,178

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

「長期未払金」

長期未払金の時価については、当該未払金の支払までの期間を基に信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しており、時価は帳簿価額と近似していることから当該帳簿価額によっております。これに伴い、レベル2の時価に分類しております。

なお、（金融商品関係）の「2．金融商品の時価等に関する事項」に記載の「投資有価証券」は、投資信託受益証券であり、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」第26項の経過措置を適用しており、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」第5 - 2項の注記を行っておりません。

当該投資信託受益証券の貸借対照表計上額は（金融商品関係）の「2．金融商品の時価等に関する事項」に記載しております。

3. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第31期（2021年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	18,142,958	-	-	-
未収委託者報酬	2,100,011	-	-	-
未収収益	2,599,647	-	-	-
関係会社短期貸付金	1,700,000	-	-	-
合計	24,542,617	-	-	-

第32期（2022年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	18,159,513	-	-	-
未収委託者報酬	1,938,156	-	-	-
未収収益	956,791	-	-	-
関係会社短期貸付金	1,000,000	-	-	-
合計	22,054,462	-	-	-

（有価証券関係）

1．関係会社株式

関係会社株式（第31期の貸借対照表計上額は60,000千円、第32期の貸借対照表計上額は60,000千円）については市場価格のない株式等と認められるため、記載しておりません。

2．その他有価証券

第31期（2021年3月31日）

投資有価証券（合同会社出資金）（貸借対照表計上額 188,432千円）については市場価格のない株式等と認められるため、次表には記載しておりません。

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他投資信託	4,312	4,020	292
合計		4,312	4,020	292

第32期（2022年3月31日）

投資有価証券（合同会社出資金）（貸借対照表計上額 308,759千円）については市場価格のない株式等と認められるため、次表には記載しておりません。

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他投資信託	5,415	5,010	405
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他投資信託	2,029,466	2,199,010	169,543
合計		2,034,881	2,204,020	169,138

3．当事業年度中に売却したその他有価証券

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他投資信託	3,768	268	-

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他投資信託	10	0	-

（退職給付関係）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は確定拠出型年金制度、及びキャッシュバランス型年金制度を採用しております。

2．キャッシュバランス型年金制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
	(千円)	(千円)
退職給付債務の期首残高	1,395,783	1,464,414
勤務費用	167,249	161,163
利息費用	6,979	7,322
数理計算上の差異の発生額	53,192	13,354
退職給付の支払額	158,789	84,742
退職給付債務の期末残高	1,464,414	1,561,511

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
	(千円)	(千円)
年金資産の期首残高	1,604,595	1,776,761
期待運用収益	8,023	5,330
数理計算上の差異の発生額	149,600	78,815
事業主からの拠出額	173,332	161,872
退職給付の支払額	158,789	84,742
年金資産の期末残高	1,776,761	1,780,406

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
	(千円)	(千円)
積立型制度の退職給付債務	1,464,414	1,561,511
年金資産	1,776,761	1,780,406
	312,347	218,895
未認識数理計算上の差異	161,402	29,853
未認識過去勤務費用	-	-
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	150,945	189,042
前払年金費用	150,945	189,042
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	150,945	189,042

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第31期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	第32期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
	(千円)	(千円)
勤務費用	167,249	161,163
利息費用	6,979	7,322
期待運用収益	8,023	5,330
数理計算上の差異の費用処理額	32,260	39,380
過去勤務債務の費用処理額	-	-
その他(注1)	1,303	1,758
キャッシュバランス型年金制度に係る退職給付費用(注2)	135,248	125,533

(注1) その他の金額は、主に当社への出向者分の退職給付費用であります。

(注2) 当社からの出向者分の退職給付費用は、上記金額に含まれておりません。

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
債券	13%	30%
現金及び預金	87%	70%
合計	100%	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
主要な数理計算上の計算基礎		
割引率	0.5%	0.5%
長期期待運用収益率	0.5%	0.3%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、第31期事業年度60,193千円、第32期事業年度53,526千円であります。

（税効果会計関係）

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
繰延税金資産	(千円)	(千円)
賞与引当金	391,656	494,974
未払費用	82,101	92,420
未払事業税	86,823	43,648
長期前払費用	100,644	108,639
減価償却超過額	146,344	156,941
その他有価証券評価差額金	-	51,790
その他	6,254	6,965
繰延税金資産小計	813,822	955,380
評価性引当額	374,481	5,556
繰延税金資産合計	439,340	949,824
繰延税金負債		
繰延税金負債合計	46,309	57,884
繰延税金資産又は繰延税金負債()の純額	393,031	891,939

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	第31期 (2021年3月31日)	第32期 (2022年3月31日)
法定実効税率	30.62%	30.62%
(調整)		
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.85%	5.45%
評価性引当額	4.81%	9.56%
住民税等均等割	0.08%	0.09%
過年度法人税等	0.16%	0.03%
その他	0.01%	0.00%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.90%	26.63%

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	業務受託報酬	その他	合計
残高報酬	11,210,022	7,849,150	1,781,474	93,012	20,933,660
成功報酬	-	2,141,101	-	-	2,141,101
合計	11,210,022	9,990,252	1,781,474	93,012	23,074,762

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	業務受託報酬	その他	合計
残高報酬	11,638,721	7,767,763	2,379,908	132,493	21,918,886
成功報酬	-	49,621	-	-	49,621
合計	11,638,721	7,817,385	2,379,908	132,493	21,968,508

（セグメント情報等）

セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1．サービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	業務受託報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	11,210,022	9,990,252	1,781,474	93,012	23,074,762

2．地域ごとの情報

営業収益

（単位：千円）

日本	英国	香港	その他	合計
12,799,203	4,977,728	3,394,022	1,903,807	23,074,762

（注）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3．主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント
JPMorgan Asset Management (UK) Limited	4,966,592	資産運用業
JPMorgan Asset Management (Asia Pacific) Limited	3,333,286	資産運用業

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

1．サービスごとの情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	業務受託報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	11,638,721	7,817,385	2,379,908	132,493	21,968,508

2．地域ごとの情報

営業収益

(単位：千円)

日本	英国	香港	その他	合計
12,737,897	3,941,639	2,874,061	2,414,909	21,968,508

(注) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3．主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント
JPMorgan Asset Management (UK) Limited	3,923,766	資産運用業
JPMorgan Asset Management (Asia Pacific) Limited	2,802,256	資産運用業

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

第31期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

親会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
親会社	J P モルガン・チェース・ホールディングス・エルエルシー	米国 ニューヨーク	213,649 百万米ドル	持株会社	被所有 間接 100%	人件費の立替	-	-	未払金	391,741

（注）取引条件及び取引条件の決定方針等

当社の役職員への賞与の支払いの一部はJ P モルガン・チェース・ホールディングス・エルエルシー（以下、「親会社」という。）により行われております。これらの費用は親会社より当社に請求されるものであり、未払いの金額については親会社に対する債務として処理しております。

子会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
子会社	JPMAMジャパン・ケイマン・ファン・ド・リミテッド	英国領 ケイマン諸島 グランドケイマン	3,500千円	外国投資 信託の管理 会社としての 業務	所有 直接 100%	資金の貸借等 及び役員の兼 任	資金の貸付 （注）	8,000,000	関係会社 短期貸付金	1,700,000
							資金の回収	9,100,000		
							受取利息	8,463	未収収益	17
							配当の受取	344,000	-	-

（注）取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の貸付については、貸付利率は市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、返済条件は期間3ヶ月であります。なお、担保は受け入れておりません。

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
最終的な親会社がある会社	JPMorgan Asset Management (UK) Limited	英国 ロンドン	24百万 ポンド	投資運用業	なし	投資の助言または投資一任	運用受託報酬	4,733,256	未収収益	790,138
							調査費	994,861	未払費用	299,344
最終的な親会社がある会社	JPMorgan Asset Management (Asia Pacific) Limited	香港 セントラル	60百万 香港ドル	投資運用業	なし	投資の助言または投資一任	運用受託報酬	3,325,196	未収収益	968,603

（注1）取引金額および期末残高には、消費税等は含まれておりません。

（注2）取引条件及び取引条件の決定方針等

運用受託報酬及び調査費に関しては、運用の再委託の一般的な手数料率を勘案し、協議の上、再委託契約を結んで行っております。

第32期（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

親会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
親会社	J Pモルガン・チェース・ホールディングス・エルエルシー	米国 ニューヨーク	214,618 百万米ドル	持株会社	被所有 間接 100%	人件費の立替	-	-	未払金	419,815

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

当社の役員への賞与の支払いの一部はJ Pモルガン・チェース・ホールディングス・エルエルシー（以下、「親会社」という。）により行われております。これらの費用は親会社より当社に請求されるものであり、未払いの金額については親会社に対する債務として処理しております。

子会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
子会社	JPMAMジャパン・ケイマン・ファン・ド・リミテッド	英国領 ケイマン諸島 グランドケイマン	3,500千円	外国投資信託の管理会社としての業務	所有 直接 100%	資金の貸借等及び役員の兼任	資金の貸付（注）	5,000,000	関係会社 短期貸付金	1,000,000
							資金の回収	5,700,000		
							受取利息	5,171	未収収益	10
							配当の受取	-	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の貸付については、貸付利率は市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、返済条件は期間3ヶ月であります。なお、担保は受け入れておりません。

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
最終的な親会社 が同一である 会社	JPMorgan Asset Management (UK) Limited	英国 ロンドン	24百万 ポンド	投資運用業	なし	投資の助言または投資一任	運用受託報酬	3,567,211	未収収益	291,744
							調査費	1,133,637	未払金	1,448,636
最終的な親会社 が同一である 会社	JPMorgan Asset Management (Asia Pacific) Limited	香港 セントラル	2,790百万 香港ドル	投資運用業	なし	投資の助言または投資一任	運用受託報酬	2,794,833	未収収益	123,299

(注1) 取引金額および期末残高には、消費税等は含まれておりません。

(注2) 取引条件及び取引条件の決定方針等

運用受託報酬及び調査費に関しては、運用の再委託の一般的な手数料率を勘案し、協議の上、再委託契約を結んで行っております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

直接親会社 J Pモルガン・アセット・マネジメント（アジア）インク（非上場）

最終的な親会社 J Pモルガン・チェース・アンド・カンパニー（ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所に上場）

（ 1 株当たり情報）

	第31期 （自2020年4月1日 至2021年3月31日）	第32期 （自2021年4月1日 至2022年3月31日）
1株当たり純資産額	351,869.22円	348,523.46円
1株当たり当期純利益	70,430.80円	50,285.28円

なお、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

1株当たりの当期純利益の算定上の基礎

	第31期 （自2020年4月1日 至2021年3月31日）	第32期 （自2021年4月1日 至2022年3月31日）
損益計算書上の当期純利益	3,962,788千円	2,829,301千円
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る当期純利益	3,962,788千円	2,829,301千円
普通株式の期中平均株式数	56,265株	56,265株

（重要な後発事象に関する注記）

該当ありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

< 訂正前 >

名 称 三井住友信託銀行株式会社
 資本金の額 342,037百万円（2021年3月末現在）

(以下略)

< 訂正後 >

名 称 三井住友信託銀行株式会社
 資本金の額 342,037百万円（2022年3月末現在）

(以下略)

(2) 販売会社

原届出書「第三部 委託会社等の情報 第2 その他の関係法人の概況 1 名称、資本金の額及び事業の内容(2) 販売会社」について、以下の内容に更新・訂正されます。

< 更新・訂正後 >

	名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
1	a u カブコム証券株式会社*1	7,196百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
2	株式会社S B I証券	48,323百万円	同 上
3	岩井コスモ証券株式会社	13,500百万円	同 上
4	岡三証券株式会社*6	5,000百万円	同 上
5	東海東京証券株式会社*3	6,000百万円	同 上
6	楽天証券株式会社	19,495百万円 (2022年7月6日現在)	同 上
7	フィデリティ証券株式会社	11,757百万円 (2022年3月16日現在)	同 上
8	松井証券株式会社*4	11,945百万円	同 上
9	丸三証券株式会社	10,000百万円	同 上
10	株式会社イオン銀行	51,250百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
11	株式会社沖縄銀行*1	22,725百万円	同 上
12	株式会社大分銀行*5	19,598百万円	同 上
13	株式会社香川銀行*2	12,014百万円	同 上
14	株式会社熊本銀行*3	10,000百万円	同 上
15	株式会社十八親和銀行*3	36,878百万円	同 上

16	株式会社十六銀行* ³	36,839百万円	同 上
17	株式会社中京銀行* ³	31,879百万円	同 上
18	株式会社徳島大正銀行* ²	11,036百万円	同 上
19	株式会社福岡銀行* ³	82,329百万円	同 上
20	三菱UFJ信託銀行株式会社* ²	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

* 1 「為替ヘッジなし」を取扱います。

* 2 「為替ヘッジなし、年2回決算型」を取扱います。

* 3 「年2回決算型」を取扱います。

* 4 「3ヵ月決算型」を取扱います。

* 5 「年2回決算型」を取扱いますが、「米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型」については募集の取扱い以外の業務を行っています。

* 6 「米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型」以外を取扱います。

(3) 運用委託先の会社

< 訂正前 >

名 称	資本金の額 (2021年3月末現在)	事業の内容
-----	-------------------------	-------

< 訂正後 >

名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
-----	-------------------------	-------

独立監査人の監査報告書

2022年11月2日

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

P w C あらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 鶴田光夫
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているJPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）の2022年3月1日から2022年8月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、3ヵ月決算型）の2022年8月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、JPMモルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2022年11月2日

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているJPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）の2022年3月1日から2022年8月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、3ヵ月決算型）の2022年8月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2022年11月2日

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているJPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）の2022年3月1日から2022年8月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、JPM北米高配当・成長株ファンド（為替ヘッジなし、年2回決算型）の2022年8月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、JPMオルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2022年11月2日

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているJPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）の2022年3月1日から2022年8月26日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、JPM北米高配当・成長株ファンド（米ドル対円ヘッジあり、年2回決算型）の2022年8月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2022年6月6日

J Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

P w Cあらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鶴田光夫指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口健志

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているJ Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第32期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、J Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。